

日本天文学会 2022年秋季年会プログラム

期 日 2022年9月13日(火)～9月15日(木)
 場 所 新潟大学五十嵐キャンパス
 電 話 090-4387-6893(学会事務局) <使用期間 2022年9月12日(月)～9月15日(木)>
 E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp(年会実行委員会)

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月11日 (日)							公開講演会						
9月12日 (月)							記者会見						
9月13日 (火)	A	受付 9:00-10:30		Q. 星間現象	昼 休 み 12:40-14:00		Q. 星間現象			天文教育 フォーラム 16:30-18:00		理事会 18:30 19:30	
	B			T. 銀河団			V3. 観測機器(X線・γ線)						
	C			Z2. JASMINE			Z2. JASMINE						
	D			S. 活動銀河核			S. 活動銀河核						
	E			P1. 星形成			P1. 星形成						
	F			Z1. 地下天文学			Z1. 地下天文学						
	G			P3. 惑星系			P3. 惑星系						
	H			X. 銀河形成・進化			X. 銀河形成・進化						
	I			M. 太陽			M. 太陽						
	J			Y. 教育・広報・他			W. コンパクト天体						
9月14日 (水)	A	受付 9:00 9:30		Q. 星間現象	昼 休 み 11:40-13:00 (代議員総会)		Q. 星間現象			ポスター 16:00 17:00	会員全体 集会 17:00 18:00		
	B			V3. 観測機器(X線・γ線)			V3. 観測機器(X線・γ線)						
	C			Z2. JASMINE			Z3. 銀河系中心						
	D			S. 活動銀河核			N. 恒星・恒星進化						
	E			P1. 星形成			P1. 星形成						
	F			V1. 観測機器(電波)			V1. 観測機器(電波)						
	G			P3. 惑星系			V2. 観測機器(光赤・重)						
	H			X. 銀河形成・進化			X. 銀河形成・進化						
	I			M. 太陽			M. 太陽						
	J			W. コンパクト天体			W. コンパクト天体						
9月15日 (木)	A	受付 9:00 9:30		P2. 原始惑星系円盤	昼 休 み 11:40-13:00		P2. 原始惑星系円盤			ポスター 15:30 16:30			
	B			V3. 観測機器(X線・γ線)			V3. 観測機器(X線・γ線)						
	C			Z3. 銀河系中心			Z3. 銀河系中心						
	D			N. 恒星・恒星進化			N. 恒星・恒星進化						
	E			R. 銀河			R. 銀河						
	F			V1. 観測機器(電波)			V1. 観測機器(電波)						
	G			V2. 観測機器(光赤・重)			V2. 観測機器(光赤・重)						
	H			X. 銀河形成・進化			X. 銀河形成・進化						
	I			U. 宇宙論			U. 宇宙論						
	J			W. コンパクト天体			W. コンパクト天体						
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

※午前セッション [1日目] 10:30～12:40 [2日目] 9:30～11:40 [3日目] 9:30～11:40
 ※午後セッション [1日目] 14:00～16:10 [2日目] 13:00～15:40 [3日目] 13:00～15:10

A会場：総合教育研究棟 B棟 2F (B251)
 B会場：総合教育研究棟 B棟 2F (B253)
 C会場：総合教育研究棟 B棟 2F (B255)
 D会場：総合教育研究棟 F棟 2F (F271)
 E会場：総合教育研究棟 F棟 2F (F275)
 F会場：総合教育研究棟 B棟 3F (B351)
 G会場：総合教育研究棟 B棟 3F (B353)
 H会場：総合教育研究棟 B棟 3F (B355)

I会場：総合教育研究棟 F棟 3F (F371)
 J会場：総合教育研究棟 F棟 3F (F375)
 K会場：総合教育研究棟 E棟 2/3F (E260)
 ※定員が超過した場合は、予備室をご利用ください

受 付：総合教育研究棟 2F ロビー
 展示コーナー：総合教育研究棟 B棟 2F (B252)
 ポ ス タ ー：オンライン上で公開

◎講演数

講演数：合計 691

(口頭講演 (a)：547、ポスター講演 (b)：117、ポスター講演 (c)：27)

◎参加申込について (参加希望者は、必ず事前に参加申込をしてください)

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会 員	非 会 員
参加費	学生正会員:2,000円(不課税) 一般:5,000円(不課税)	5,000円(消費税込み)
講演登録費	2,000円(不課税)(1講演につき) 但し事前支払がない場合は、会員3,000円/非会員6,000円	5,000円(消費税込み・企画セッション)
年会予稿集	2,000円(消費税込み) ※購入希望者のみ	

○参加申込受付場所：学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>)

○参加申込受付期間：2022年8月9日～8月22日 (講演者を含む参加者全員の事前申込が必要)

※今回から参加申込・参加費の支払いが必要です

※原則として講演登録費・参加費の返金はいたしません

◎講演に関する注意

- 口頭発表は10会場で並行して行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。
ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

- ポスター(添字b、c)はオンライン上で公開いたします。ポスターセッションはSlackを利用します。コアタイムの間、極力リアルタイムで返信をしてください。(添字aの講演者にもSlackチャンネルをご用意いたします)
- 口頭講演者(添字a、b、r)は、現地のセッション会場で発表していただきます。
セッション開始5分前から座長が講演方法の説明をいたします。講演者はなるべくご参加ください。
口頭講演のスライドファイル(PDFまたはPowerPoint形式)は事前にご提出いただき、1台の共用のPCを用いて講演を行っていただく予定です。ポスターファイルについても事前にご提出いただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、発表方法が変更になる場合がございます。最新の情報はホームページで必ずご確認ください。

- オンライン参加者は、セッション開始時刻の5分前からアクセスいただけます。
また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
視聴者	「氏名」+「(所属)」	天文花子(天文大学)

- 講演の実施方法の詳細は、学会ホームページに掲載いたします。事前に講演方法についてよく確認いただいた上で準備を勧めていただくようお願いいたします。オンラインで参加される方は、Zoomの操作手順に関する理解を深めていただくようお願いいたします。
- 受信画像や発表資料の保存(キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月11日(日)	13:30～16:00	新潟市民プラザホール / オンライン	公開講演会
9月12日(月)	14:00～16:00	新潟大学 / オンライン	記者会見
9月13日(火)	16:30～18:00	K会場	天文教育フォーラム
9月14日(水)	17:00～18:00	K会場	会員全体集会

◎会合一覧表

※今回、通常の会合は募集していません。

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否*
9月13日(火)	18:30～19:30	オンライン	理事会	D
9月14日(水)	11:40～13:00	K会場	代議員総会	D

※年会参加者の参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎天文教育フォーラム：「新しい学習指導要領を考える」

日 時：2022年9月13日（火）16：30～18：00

場 所：K会場（要申込。天文教育フォーラムのみ参加の場合、参加費は無料です）

概 要： いよいよ2022年度より高校でも新しい学習指導要領による指導がスタートしました。今回の改訂では、全教科探究型授業へのシフトや、理数科の導入など、新しい試みがなされています。今回の改訂により、学校での授業はどのように変わっていくのでしょうか。また、今回の改訂は数年後からの大学入試にどのように反映されるのでしょうか。高大連携の重要性が指摘される昨今、大学で教育にあたる教員にも学習指導要領への理解は必須かと思われます。

また、探究型学習の重視は、社会教育施設利用の在り方や、科学コミュニケータと生徒との関わりにも影響が及ぶことが考えられます。このように、学習指導要領の改訂は、学校教員、大学教員、科学コミュニケータをはじめ、広く天文学会関係者に影響を及ぼす可能性があります。そこで、今回の天文教育フォーラムでは、新しい学習指導要領について学び、各々の立場でどのような対応ができるのかを考えていきたいと思えます。

話題提供：(1) 石田光宏氏（横浜市立戸塚高等学校） 「新学習指導要領と学校教育現場での探究的活動」
(2) 土佐幸子氏（新潟大学教育学部） 「新学習指導要領のレビューと最新の研究成果」

実行委員：鴈野重之（九州産業大学）、田崎文得（東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ）、松本佳也（広島市こども文化科学館）、内山秀樹（静岡大学）、富田晃彦（和歌山大学）、玉澤春史（京都市立芸術大学）

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎日本天文学会公開講演会

- 日 時：2022年9月11日（日）13：30～16：00（開場 13:00）
 形 式：対面とオンラインを併用したハイブリッド形式
 場 所：【対面】新潟市民プラザホール 新潟市中央区西堀通 6-866 NEXT21 6F
 【オンライン】Zoom/webinar（学会ホームページにて事前登録が必要）
 ※新型コロナ感染拡大防止のため、対面開催の予定を変更させて頂く場合があります。
- 対 象：中学生以上・一般向け
 テ ー マ：「天文学の新展開」
- 近年、天文学の分野では大きな研究進展が起きています。本講演会では、その中でも最近のニュースでも話題になった EHT によるブラックホールシャドウの観測と、はやぶさ 2 による小惑星リュウグウからのサンプルの採集による研究成果をテーマにして、最先端研究を判りやすく紹介して頂きます。
- 講師・タイトル：下記をご参照ください。
 参 加 費：無料
 定 員：【対面】250 名（先着順・自由参加）、【オンライン】1,000 名（先着順・事前登録制）

<講演内容の紹介>

講演 1：「天の川銀河中心にあるブラックホールの撮影」

講師：小山翔子（新潟大学 助教）

イベント・ホライズン・テレスコープ (EHT) は 2022 年 5 月 12 日、私たちの住む天の川銀河の中心にあるブラックホールの画像を初公開しました。EHT は 2019 年にもおとめ座銀河団にある銀河 M87 において、人類史上初のブラックホールの画像を得ることに成功しています。これらの成果は日本を含む世界同時の記者会見で発表され、世界中のメディアで報道されました。ブラックホールの画像を得るまでの EHT の取り組みや、これらの画像から何がわかるのか、さらに今後どのような展開が期待されるのかを解説します。

講演 2：「はやぶさ 2 による小惑星リュウグウからのサンプル回収とその解析」

講師：藪田ひかる（広島大学 教授）

2020 年 12 月、日本の探査機「はやぶさ 2」は小惑星リュウグウの表層サンプルを地球へ持ち帰ることに成功しました。その後のサンプル分析の結果から、太陽系と生命の起源について新しい事実が次々と明らかになってきました。それらについてわかりやすく解説します。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

後 援：新潟大学 自然科学系

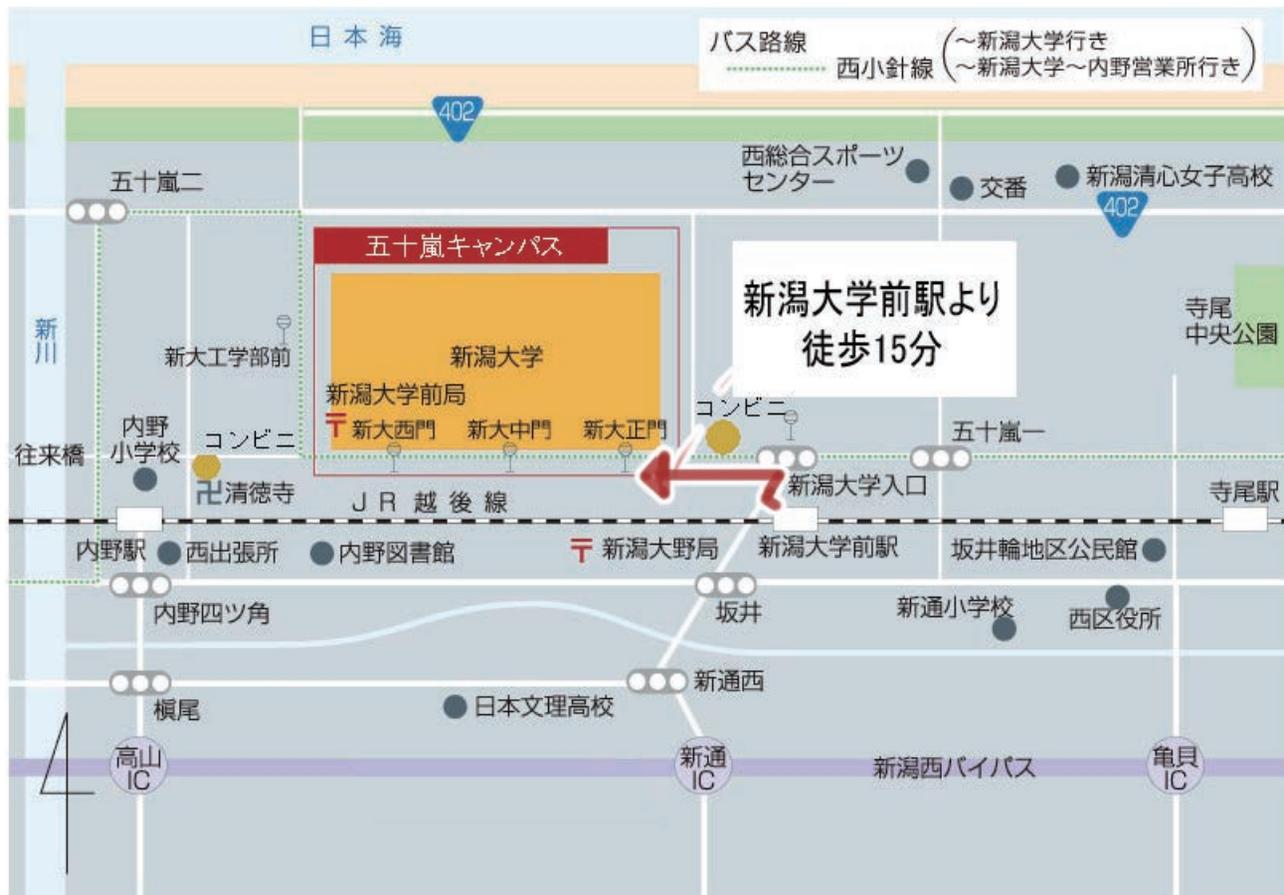
※参加申込方法、及び最新のプログラムにつきましては学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>) をご覧ください。

交通のご案内

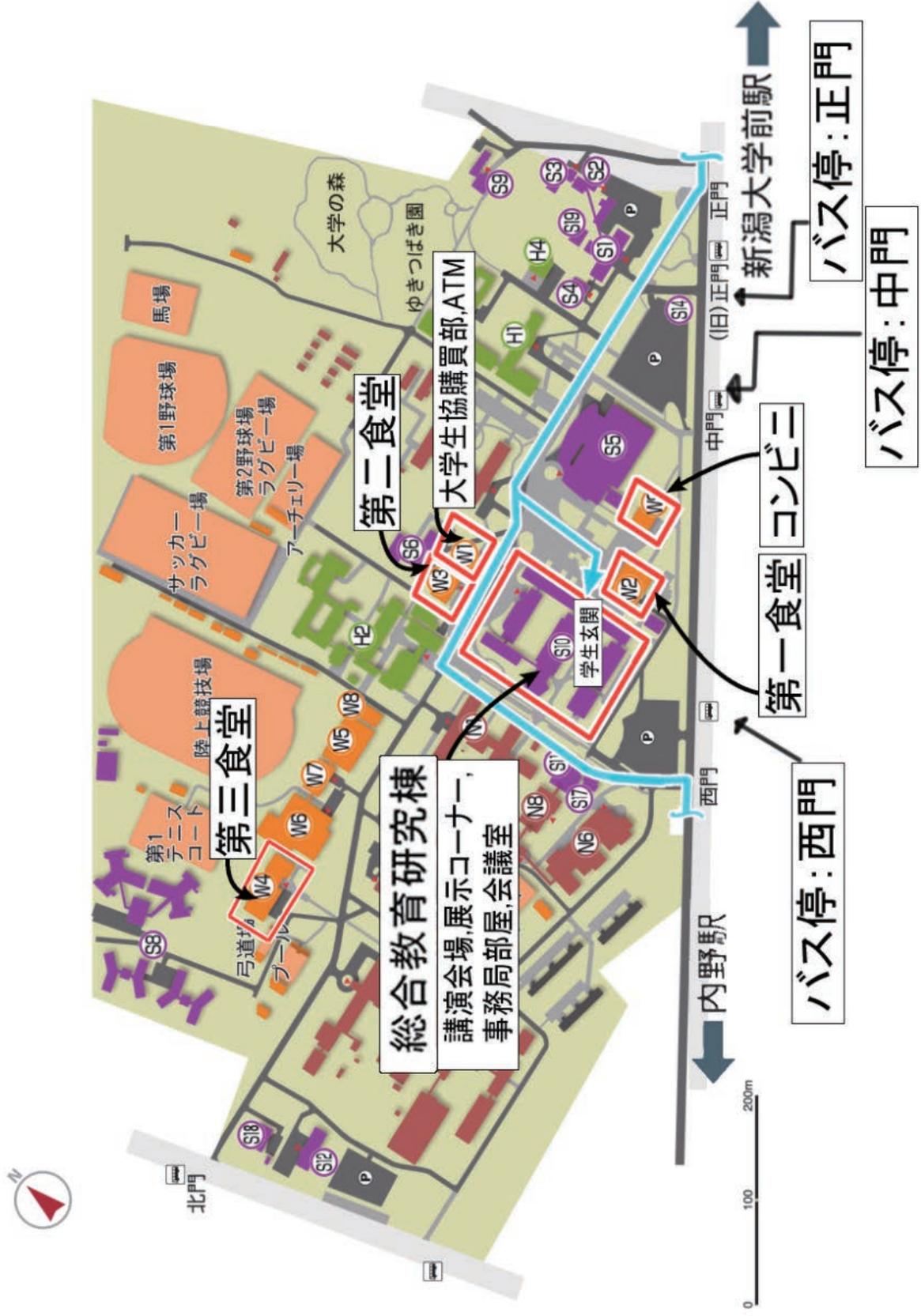
主な交通手段と所要時間

新潟空港 → 新潟駅	バス：新潟交通 E22 空港・松浜線「新潟空港」乗車、「新潟駅前」下車（約 30 分） 新潟空港リムジンバス「新潟空港」乗車、「新潟駅南口」下車（約 25 分）
新潟駅 → 新潟大学	在来線：越後線「新潟大学前駅」下車（約 20 分）～徒歩 15 分 バス：新潟交通 W21 西小針線「新潟駅前」乗車 「新大（しんだい）正門」下車（約 45 分）～会場まで徒歩 5 分
万代シティバスセンター → 新潟大学	バス：新潟交通 W21 西小針線「万代シティ（BC 前）」乗車 「新大（しんだい）正門」下車（約 45 分）～会場まで徒歩 5 分

新潟大学周辺の交通



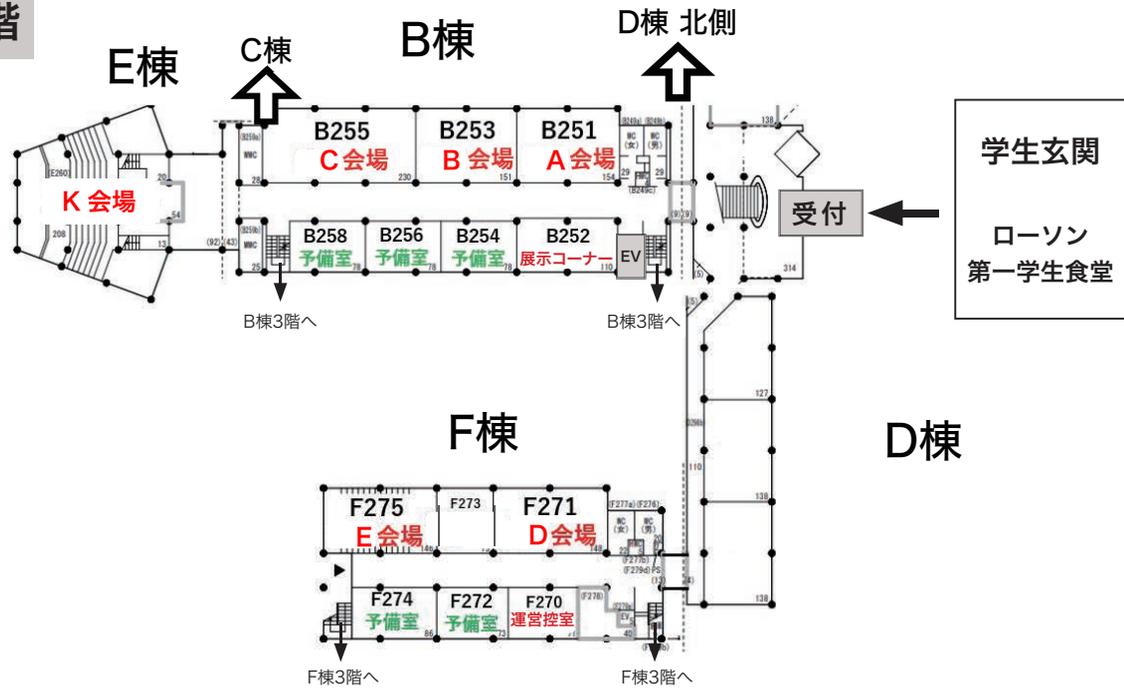
新潟大学キャンパスマップ



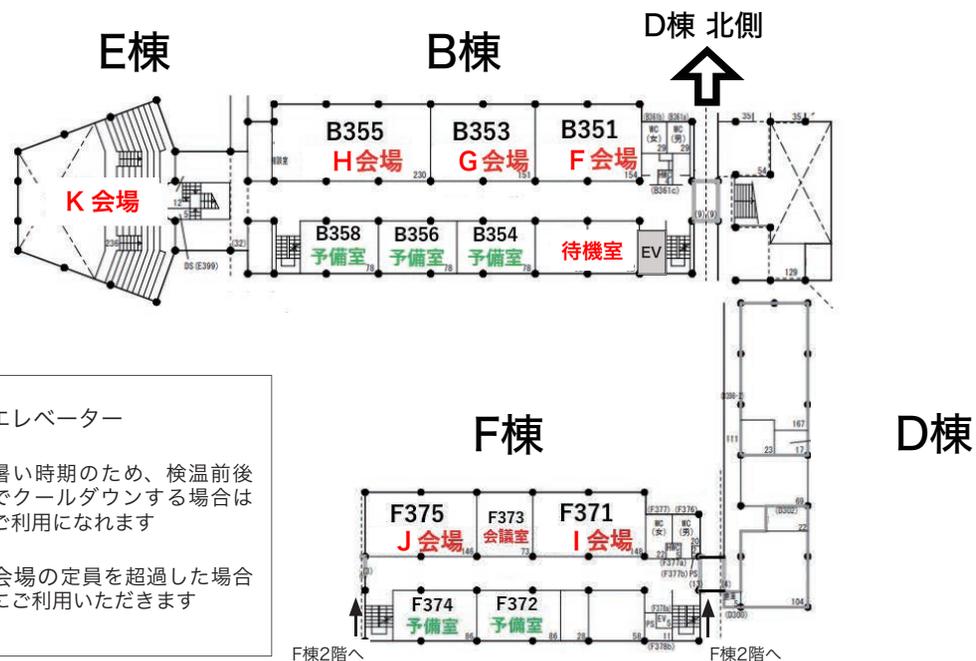
セッション会場のご案内

場所：五十嵐キャンパス 総合教育研究棟

2階



3階



EV … エレベーター

待機室 … 暑い時期のため、検温前後でクールダウンする場合はご利用になれます

予備室 … 会場の定員を超過した場合にご利用いただきます

口頭セッション 9月13日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	星間現象	銀河団	JASMINE	活動銀河核	星形成	地下天文学	惑星系	銀河形成	太陽	教育・他
10:30	Q01a	T01a	Z201r Z206a	S01a	P101a	Z101r Z108a	P301a	X01a	M01a	Y01a
10:42	Q02a	T02a		S02a	P102a		P302a	X02a	M02a	Y02a
10:54	Q03a	T03a		S03a	P103a		P303a	X03a	M03a	Y03a
11:06	Q04a	T04a		S04a	P104a		P304a	X04a	M04a	Y04a
11:18	Q05a	T05a		S05a	P105a		P305a	X05a	M05a	Y05a
11:30	Q06a	T06a		S06a	P106a		P306a	X06a	M06a	Y06a
11:42	Q07a	T07a		S07a	P107a		P307a	X07a	M07a	Y07a
11:54	Q08a	T08a		S08a	P108a		P308a	X08b X09b X10b	M08a	Y08a
12:06	Q09a	T09a		S09a	P109a		P309a	X11b X12b X13b	M09b M10b M11b	Y09a
12:18	Q10b Q11b	-		S10b S11b S12b	P110a		P310a	X14b X15b X16b	M12b M13b M14b	Y10b Y11b
12:30	-	-	S13b S14b	P111b P112b	-	X17b X18b X19b	-	-		
12:40	昼休み									
開始時刻	星間現象	観測機器 (X線・γ線)	JASMINE	活動銀河核	星形成	地下天文学	惑星系	銀河形成	太陽	コンパクト 天体
14:00	Q12a	V301a	Z211r Z217a	S17a	P113a	Z109r Z121a	P311a	X21a	M18a	W01a
14:12	Q13a	V302a		S18a	P114a		P312a	X22a	M19a	W02a
14:24	Q14a	V303a		S19a	P115a		P313a	X23a	M20a	W03a
14:36	Q15a	V304a		S20a	P116a		P314a	X24a	M21a	W04a
14:48	Q16a	V305a		S21a	P117a		P315a	X25a	M22a	W05a
15:00	Q17a	V306a		S22a	P118a		P316a	X26a	M23a	W06a
15:12	Q18a	V307a		S23a	P119a		P317b	X27a	M24a	W07a
15:24	Q19a	V308a		S24a	P120a		-	X28a	M25a	W08a
15:36	Q20a	V309a		S25a	P121a		-	X29a	M26a	W09a
15:48	Q21a	V310b V311b V312b		S26a	P122b P123b P124b		-	X30a	M27a	W10a
16:00	Q22b	-	S27a	-	-	X31a	-	W11a		
16:30	天文教育フォーラム									
18:30	理事会									

口頭セッション 9月14日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	星間現象	観測機器 (X線・γ線)	JASMINE	活動銀河核	星形成	観測機器 (電波)	惑星系	銀河形成	太陽	コンパクト 天体
09:30	Q23a	V313a	Z218r Z228b	S28a	P125a	V101a	P320a	X32a	M28a	W12a
09:42	Q24a	V314a		S29a	P126a	V102a	P321a	X33a	M29a	W13a
09:54	Q25a	V315a		S30a	P127a	V103a	P322a	X34a	M30a	W14a
10:06	Q26a	V316a		S31a	P128a	V104a	P323a	X35a	M31a	W15a
10:18	Q27a	V317a		S32a	P129a	V105a	P324a	X36a	M32a	W16a
10:30	Q28a	V318a		S33a	P130a	V106a	P325a	X37a	M33a	W17a
10:42	Q29a	V319a		S34a	P131a	V107b V108b V109b	P326a	X38a	M34a	W18a
10:54	Q30a	V320a		S35a	P132a	V110b V111b V112b	P327a	X39a	M35a	W19a
11:06	Q31a	V321a		S36a	P133a	V113b V114b V115b	P328a	X40a	M36a	W20a
11:18	Q32a	V322b V323b		S37a	P134b P135b P136b	V116b V117b	P329b P330b	X41a	M37a	W21a
11:40	昼休み(代議員総会)									
開始時刻	星間現象	観測機器 (X線・γ線)	銀河系中心	恒星進化	星形成	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	銀河形成	太陽	コンパクト 天体
13:00	Q33a	V324a	Z301r Z311b	N01a	P137a	V119a	V201a	X42a	M38a	W23a
13:12	Q34a	V325a		N02a	P138a	V120a	V202a	X43a	M39a	W24a
13:24	Q35a	V326a		N03a	P139a	V121a	V203a	X44a	M40a	W25a
13:36	Q36a	V327a		N04a	P140a	V122a	V204a	X45a	M41a	W26a
13:48	Q37a	V328a		N05a	P141a	V123a	V205a	X46a	M42a	W27a
14:00	Q38a	V329a		N06a	P142a	V124a	V206a	X47a	M43a	W28a
14:12	Q39a	V330a		N07a	P143a	V125a	V207a	X48a	M44a	W29a
14:24	Q40a	V331a		N08a	P144a	V126a	V208a	X49a	M45a	W30a
14:36	-	V332a		N09a	P145a	V127a	V209a	X50a	M46a	W31a
14:48	-	V333a		N10a	P146a	V128a	V210a	X51a	M47a	W32b W33b W34b
15:00	-	-		N11a	P147a	V129a	V211a	X52a	-	W35b W36b W37b
15:12	-	-		N12a	P148a	V130a	V212a	X53a	-	W38b W39b W40b
15:24	-	-		N13b N14b N15b	P149a	V131b	V213b V214b V215b	X54a	-	W41b W42b W43b
16:00	ポスター									
17:00	会員全体集会									

口頭セッション 9月15日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	原始惑星系 円盤	観測機器 (X線・γ線)	銀河系中心	恒星進化	銀河	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	銀河形成	宇宙論	コンパクト 天体
09:30	P201a	V334a	Z312r Z322b	N18a	R01a	V132a	V217a	X55a	U01a	W44a
09:42	P202a	V335a		N19a	R02a	V133a	V218a	X56a	U02a	W45a
09:54	P203a	V336a		N20a	R03a	V134a	V219a	X57a	U03a	W46a
10:06	P204a	V337a		N21a	R04a	V135a	V220a	X58a	U04a	W47a
10:18	P205a	V338a		N22a	R05a	V136a	V221a	X59a	U05a	W48a
10:30	P206a	V339a		N23a	R06a	V137a	V222a	X60a	U06a	W49a
10:42	P207a	V340a		N24a	R07a	V138a	V223a	X61a	U07a	W50a
10:54	P208a	V341a		N25a	R08a	V139a	V224a	X62a	U08a	W51a
11:06	P209a	V342a		N26a	R09a	V140a	V225a	X63a	U09a	W52a
11:18	P210a	V343a		N27a	R10b R11b R12b	V141a	V226b V227b V228b	X64a	U10b U11b	W53a
11:30	P211a	-		-	-	-	V229b V230b V231b	X65a	-	-
11:42	P212b P213b	-		-	-	-	-	-	-	-
11:40	昼休み									
開始時刻	原始惑星系 円盤	観測機器 (X線・γ線)	銀河系中心	恒星進化	銀河	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	銀河形成	宇宙論	コンパクト 天体
13:00	P214a	V344a	Z323r Z335a	N28a	R14a	V142a	V232a	X66a	U12a	W54a
13:12	P215a	V345a		N29a	R15a	V143a	V233a	X67a	U13a	W55a
13:24	P216a	V346a		N30a	R16a	V144a	V234a	X68a	U14a	W56a
13:36	P217a	V347a		N31a	R17a	V145a	V235a	X69a	U15a	W57a
13:48	P218a	V348a		N32a	R18a	V146a	V236a	X70a	U16a	W58a
14:00	P219a	V349a		N33a	-	-	V237a	X71a	U17a	W59a
14:12	P220a	V350a		N34a	-	-	V238a	X72a	U18a	W60a
14:24	P221a	-		N35a	-	-	V239a	X73a	U19a	W61a
14:36	P222a	-		N36a	-	-	V240a	X74a	-	W62a
14:48	P223a	-		-	-	-	V241b V242b V243b	X75a	-	-
15:00	P224a	-		-	-	-	V244b	X76a	-	-
15:30	ポスター									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります。

ポスターセッション 9月14日(水)・9月15日(木)

<p>【Z1. 地下天文学】(11)</p> <p>Z107b Z112b Z114b Z115b Z116b</p> <p>Z117b Z119b Z122c Z123c Z124c</p> <p>Z125c</p> <p>【Z2. JASMINE】(8)</p> <p>Z207c Z208c Z209c Z210c Z225b</p> <p>Z226b Z227b Z228b</p> <p>【Z3. 銀河系中心】(15)</p> <p>Z308b Z309b Z310b Z311b Z319b</p> <p>Z320b Z321b Z322b Z326b Z327b</p> <p>Z328b Z329b Z330b Z331b Z332b</p> <p>【M. 太陽】(9)</p> <p>M09b M10b M11b M12b M13b</p> <p>M14b M15c M16c M17c</p> <p>【N. 恒星・恒星進化】(5)</p> <p>N13b N14b N15b N16c N17c</p> <p>【P1. 星・惑星形成(星形成)】(8)</p> <p>P111b P112b P122b P123b P124b</p> <p>P134b P135b P136b</p> <p>【P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)】(2)</p> <p>P212b P213b</p> <p>【P3. 星・惑星形成(惑星系)】(6)</p> <p>P317b P318c P319c P329b P330b</p> <p>P331c</p>	<p>【Q. 星間現象】(3)</p> <p>Q10b Q11b Q22b</p> <p>【R. 銀河】(4)</p> <p>R10b R11b R12b R13c</p> <p>【S. 活動銀河核】(7)</p> <p>S10b S11b S12b S13b S14b</p> <p>S15c S16c</p> <p>【T. 銀河団】(1)</p> <p>T10c</p> <p>【U. 宇宙論】(2)</p> <p>U10b U11b</p> <p>【V1. 観測機器(電波)】(13)</p> <p>V107b V108b V109b V110b V111b</p> <p>V112b V113b V114b V115b V116b</p> <p>V117b V118c V131b</p> <p>【V2. 観測機器(光赤外・重力波・その他)】(15)</p> <p>V213b V214b V215b V216c V226b</p> <p>V227b V228b V229b V230b V231b</p> <p>V241b V242b V243b V244b V245c</p> <p>【V3. 観測機器(X線・γ線)】(5)</p> <p>V310b V311b V312b V322b V323b</p>
--	---

ポスターセッション 9月14日(水)・9月15日(木)**【W. コンパクト天体】(13)****W22c W32b W33b W34b W35b****W36b W37b W38b W39b W40b****W41b W42b W43b****【X. 銀河形成・進化】(13)****X08b X09b X10b X11b X12b****X13b X14b X15b X16b X17b****X18b X19b X20c****【Y. 天文教育・広報普及・その他】(4)****Y10b Y11b Y12c Y13c**

Z1. 地下天文学

Z1. 地下からの天文・宇宙観測

9月13日（火）午前・F会場		9月13日（火）午後・F会場	
10:30	Z101r 地下からのマルチメッセンジャー観測で迫る超新星爆発の最深部 諏訪雄大（東京大学）	14:00	Z109r 地下からのニュートリノ観測 清水格（東北大学）
10:58	Z102r 地下からの重力波観測ー大型低温重力波望遠鏡 KAGRAー 澤田崇広（大阪公立大学）	14:28	Z110a 物質優勢宇宙と二重ベータ崩壊 家城斉（東北大学）
11:26	Z103a 重力波望遠鏡 KAGRA における時刻同期システムの性能評価 押野翔一（東京大学）	14:40	Z111a Super-Kamiokande 検出器を用いた太陽からのニュートリノ観測 中野佑樹（東京大学）
11:38	Z104a Japanese Collaboration for Gravitational-Wave Electromagnetic Follow-up (J-GEM) 村田勝寛（東京工業大学）	14:52	Z112b 太陽ニュートリノによる太陽の形成・進化過程の制約 國友正信（久留米大学）
11:50	Z105a 地上からのフォローアップ観測：OISTER 野上大作（京都大学）	14:55	Z113a KamLAND における超新星爆発由来ニュートリノの探索と銀河系内星形成率への制限 永塚穂里（東北大学）
12:02	Z106a 重力波の非線形メカニズムに着目したデータ解析手法 武田芽依（大阪市立大学）	15:07	Z114b 超新星爆発からのニュートリノの長時間計算 森正光（東京大学）
12:14	Z107b 重力波検出器における突発性雑音の教師なし分類 高橋弘毅（東京都市大学）	15:10	Z115b 超新星爆発における原始中性子星の冷却過程で観測されるニュートリノ事象の研究 中西史美（岡山大学）
12:17	Z108a 地下からの重力波観測と連星ブラックホールの軌道離心率 谷川衝（東京大学）	15:13	Z116b 反応率のエネルギー依存性がニュートリノ集団振動の非線形進化に与える影響の調査 加藤ちなみ（東京理科大学）
12:29	質疑応答（10分）	15:16	Z117b KamLANDによる前兆ニュートリノを用いた超新星アラームシステムの現状と展望 石徹白晃治（東北大学）
		15:19	Z118a 超新星背景ニュートリノで探る大質量星の最期 中里健一郎（九州大学）
		15:31	Z119b KamLAND における原始ブラックホールからのニュートリノ探索 中村稜（東北大学）
		15:34	Z120a ハイパーカミオカンデにおける天体ニュートリノ観測 矢野孝臣（東京大学）

Z2. JASMINE が切り拓く近赤外時系列位置・
測光天文学

15:46	Z121a Paleo-detector の開発 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)	9 月 13 日 (火) 午前・C 会場
	Z122c 親星の構造データからニュートリノ放出 量を評価するモデルの改良に向けて 本間卓磨 (東京理科大学)	10:30 Z201r JASMINE 計画 郷田直輝 (国立天文台)
	Z123c 超新星背景ニュートリノの計算に向けた 種族合成計算コードの改良について 小川翔平 (東京理科大学)	11:00 Z202a JASMINE のシステム概要 片坐宏一 (宇宙航空研究開発機構)
	Z124c The Super-Kamiokande Pre-Supernova Alert System Lucas Nascimento Machado (University of Naples Federico II)	11:24 Z203a JASMINE のデータ解析 山田良透 (京都大学)
	Z125c SK-Gd 実験の現状と展望 小汐由介 (岡山大学)	11:48 Z204a JASMINE による銀河系中心考古学 河田大介 (University College London, Mullard Space Science Laboratory)
15:58	質疑応答 (10 分)	12:00 Z205a PRIME 望遠鏡を用いた銀河系バルジに あるミラ型変光星探査の検討 松永典之 (東京大学)
		12:12 Z206a JASMINE による系外惑星探査 河原創 (東京大学)
		Z207c JASMINE の観測波長と観測データにつ いての見直し検討 矢野太平 (国立天文台)
		Z208c JASMINE ・カメラシステムの開発検討 鹿野良平 (国立天文台)
		Z209c JASMINE 望遠鏡光学系 : 変遷と現在 ノミナルモデル 鹿島伸悟 (国立天文台)
		Z210c JASMINE 衛星の運用・地上系の概念 検討 磯部直樹 (宇宙航空研究開発機構)
		12:24 質疑応答 (10 分)

9月13日(火) 午後・C会場		9月14日(水) 午前・C会場	
14:00	Z211r 銀河系中心核ディスクと中心核星団の起源と近赤外線サーベイ計画 西山正吾(宮城教育大学)	09:30	Z218r スペース・地上近赤外線観測から迫る太陽系外惑星 小谷隆行(アストロバイオロジーセンター/国立天文台/総合研究大学院大学)
14:30	Z212a JASMINEによる強吸収領域における集団的星形成の研究 西亮一(新潟大学)	10:00	Z219a M型星周りの水惑星存在度に関する惑星形成論的予測 木村真博(東京大学)
14:42	Z213a 銀河系中心電波源 astrometry に基づくJASMINE との連携計画 今井裕(鹿児島大学)	10:12	Z220a 系外惑星大気赤外分光観測衛星計画 Ariel 生駒大洋(国立天文台)
14:54	Z214a 位置天文観測と天の川銀河のN体シミュレーションの比較 朝野哲郎(東京大学)	10:24	Z221a JASMINE 衛星による精密測光観測 II 平野照幸(アストロバイオロジーセンター/国立天文台)
15:06	Z215r 2020年代後半の重力マイクロレンズ探査とJASMINE の位置付け 越本直季(NASAゴダード宇宙飛行センター/メリーランド大学)	10:36	Z222a 精密測光・位置天文に向けた新しいフラット補正技術と検出器特性精密測定方法の開発 多田将太郎(総合研究大学院大学)
15:36	Z216a Gaiaによるブラックホール連星探査への理論予想とJASMINEへの期待 鹿内みのり(東京大学)	10:48	Z223a JASMINEによる星団領域の若い惑星探査 宮川浩平(国立天文台)
15:48	Z217a JASMINEで切り開く天の川銀河面拡散X線放射構成種族の解明 森鼻久美子(名古屋大学)	11:00	Z224a 連続高精度測光で大質量X線連星を探る 河合誠之(東京工業大学)
16:00	質疑応答(10分)	11:12	Z225b JASMINEによる褐色矮星の光度変動観測 川島由依(理化学研究所)
		11:16	Z226b JASMINEによるM型矮星まわりのトランジット惑星探査の検討 増田賢人(大阪大学)
		11:20	Z227b Stellar spin-down relations from young cluster observations of JASMINE 野津湧太(コロラド大学/東京工業大学)
		11:24	Z228b PRIME望遠鏡による星団領域のトランジット系外惑星探査 宮崎翔太(大阪大学)
		11:28	質疑応答(10分)

Z3. 銀河系中心研究の新展開

9月14日(水) 午後・C会場		9月15日(木) 午前・C会場	
13:00	Z301r Sgr A*に関する現状の理解と今後の展望 岩田悠平(国立天文台)	09:30	Z312r 銀河系中心巨大ブラックホールによる 重力理論の探査 齊田浩見(大同大学)
13:24	Z302a ブラックホールジェットの地平面近傍の 電波放射機構: Sgr A* で見えない理由 木村成生(東北大学)	09:54	Z313a EHTによるSgr A*の観測成果 VI: ブラック ホール計量の検証 水野陽介(上海交通大学)
13:36	Z303a 銀河系中心 Sgr A* の偏光画像から探 る磁場構造、および活動銀河核ジェット 駆動機構解明へのシナジー 恒任優(京都大学)	10:06	Z314a ブラックホール周辺のダークマター分布 における近点移動 伊形尚久(学習院大学)
13:48	Z304r EHTによるSgr A*の観測成果 I: Overview 森山小太郎(ゲーテ大学)	10:18	Z315r 位置天文観測による天の川銀河バルジ の複合構造の理解の現状と展望 馬場淳一(国立天文台)
14:12	Z305a EHTによるSgr A*の観測成果 II: EHT に同期した多波長観測キャンペーン 秦和弘(国立天文台)	10:42	Z316a 天の川銀河棒状構造が引き起こす銀河 中心へのガス供給 松井秀徳(旭川工業高等専門学校)
14:24	Z306a EHTによるSgr A*の観測成果 III: Sgr A* のブラックホールシャドウの画像化 小藤由太郎(東京大学)	10:54	Z317a 銀河中心ブラックホール近傍における 共鳴緩和 船渡陽子(東京大学)
14:36	Z307a EHTによるSgr A*の観測成果 V: 銀河中 心ブラックホールの降着流モデルの検証 川島朋尚(東京大学)	11:06	Z318a TMT 第一期観測装置 IRIS を用いた銀 河系中心部におけるアストロメトリ 鈴木竜二(国立天文台)
14:48	Z308b EHTによるSgr A*の観測成果 IV: ブラック ホールシャドウの形状と物理パラメータ 笹田真人(東京工業大学)	11:18	Z319b 銀河系中心巨大ブラックホール近傍の 晩期型巨星の起源の研究 西山正吾(宮城教育大学)
14:51	Z309b 東アジア VLBI 観測網で探る Sgr A* 画像 への星間散乱の影響 紀基樹(工学院大学/国立天文台)	11:21	Z320b 銀河中心の恒星分布の進化の N 体 シミュレーションによる研究 堀口直人(神戸大学)
14:54	Z310b ALMA Archive Data を用いた銀河系中心 核 Sgr A* の光度変動解析 柳原一輝(慶應義塾大学)	11:24	Z321b 銀河系バルジ領域に最適化した種族合 成モデルの開発 越本直季(NASAゴダード宇宙飛行セン ター/メリーランド大学)
14:57	Z311b Sgr A*・1.3 ミリメートル波電波の時間変動の 周期性確認とデカメートル電波パルス観測 に基づく超巨大ブラックホールバイナリー の存在 大家寛(東北大学)	11:27	Z322b 銀河系中心における近赤外線高頻度 撮像サーベイ: PRIME 望遠鏡の進捗お よび将来計画 鈴木大介(大阪大学)
15:00	質疑応答(10分)	11:30	質疑応答(10分)

Z3. 銀河系中心

9月15日(木) 午後・C会場		14:45	Z335a 銀河系中心の高速度分子雲 CO 0.02-0.02 領域の X 線天体の調査 石渡幸太(大阪大学)
13:00	Z323r 銀河系中心分子層に発見された高速度コンパクト雲 岡朋治(慶應義塾大学)	14:57	質疑応答(10分)
13:24	Z324a Joint Analysis of Proper Motion and Radial Velocity of GCIRS13E; New Mass Estimation of the IMBH Candidate Masato Tsuboi (ISAS/JAXA)		
13:36	Z325a 銀河系中心核近傍の超小型高速度コンパクト雲 竹川俊也(神奈川大学)		
13:48	Z326b 銀河系中心部における分子雲衝突と誘発される星形成 榎谷玲依(慶應義塾大学)		
13:51	Z327b 銀河系中心分子層東端に位置する特異分子雲 G1.6-0.025 の観測的研究 児島友里(慶應義塾大学)		
13:54	Z328b 野辺山 45 m 鏡による銀河系中心衝撃波領域の広域イメージング観測 竹川俊也(神奈川大学)		
13:57	Z329b 銀河系中心分子層外縁部に発見された高速度コンパクト雲 CO 1.62+0.25 の観測的研究 中村太一(慶應義塾大学)		
14:00	Z330b 銀河系中心領域に発見された特異分子雲 “Tadpole” の観測的研究 金子美由起(慶應義塾大学)		
14:03	Z331b 銀河系バルジ領域における磁気活動が星間ガスの動熱力学に与える影響 柿内健佑(名古屋大学)		
14:06	Z332b ALMA による銀河系中心 Circumnuclear Disk 内外の降着流の観測 田中邦彦(慶應義塾大学)		
14:09	Z333r すざく、XRISM で探る銀河系中心領域の拡散 X 線放射 信川正順(奈良教育大学)		
14:33	Z334a 巨大分子雲 Sgr B2 からの He-like 鉄輝線放射と高速度コンパクト雲 田中優貴子(京都大学)		

M. 太陽

9月13日(火) 午前・I会場		12:18	M13b	京都大学飛騨天文台 SMART/SDDI を用いた“星としての太陽活動現象”と H α スペクトルの対応に関する研究 III 大津天斗(京都大学)
10:30	M01a			太陽型星の恒星風スケーリング則 庄田宗人(東京大学)
10:42	M02a	12:18	M14b	Sun-as-a-star Analysis of H α Spectra of a Solar Flare Observed by SMART/SDDI: Time Evolution of Red Asymmetry and Line Broadening 行方宏介(国立天文台)
10:54	M03a		M15c	DST 偏光分光観測装置を用いた He I 10830 Å によるプロミネンスの磁場観測 橋本裕希(京都大学)
11:06	M04a		M16c	Development and Future of DST Spectro-Polarimeter at Hida Observatory Huang Yuwei (Kyoto University)
11:18	M05a		M17c	GAIA による太陽フレア放射スペクトルの通信障害への影響評価 北島慎之典(防衛大学校)
11:30	M06a	12:30		質疑応答(10分)
11:42	M07a			粒子到達時間の長い太陽高エネルギー粒子イベントに関する詳細解析 木原孝輔(京都大学)
11:54	M08a			Magnetic flux-line irradiance scaling laws for the Sun and Sun-like stars 鳥海森(宇宙航空研究開発機構)
12:06	M09b			XUV Spectra of Active Solar-like Stars: Extension of Solar Empirical Laws 行方宏介(国立天文台)
12:06	M10b			三鷹における光学試験環境の構築について - 近赤外域での太陽撮像によるフィルター試験 - 伊集朝哉(国立天文台)
12:06	M11b			活動領域 NOAA12887 におけるフィラメント噴出を伴う X1.0 フレアのデータ拘束型磁気流体シミュレーション 山崎大輝(京都大学)
12:18	M12b			人工衛星の軌道変化の解析による宇宙天気現象としての太陽フレアの影響 野澤恵(茨城大学)
				せいめい望遠鏡によるK型星BF Lynのスーパーフレアの高時間分解能分光観測 前原裕之(国立天文台)

9月13日(火) 午後・I会場		9月14日(水) 午前・I会場	
14:00	M18a コロナ加熱における彩層温度の影響 鷲ノ上遥香(東京大学)	09:30	M28a Constrained-Transport 磁気流体力学 緩和法における境界電場補正 三好隆博(広島大学)
14:12	M19a 機械学習による太陽輝点の自動検出手 法の比較 渡邊健斗(新潟大学)	09:42	M29a おひつじ座 UX 星で起こった巨大フレア のせいめい及び MAXI による同時観測 那波咲良(中央大学)
14:24	M20a Hinode/EIS を使ったコロナループの加熱 分布についての研究 石神瞬(総合研究大学院大学)	09:54	M30a 白色光/H α 線同時観測による恒星スー パーフレア中の短周期 QPP の検出 浪崎桂一(京都大学)
14:36	M21a 電子密度診断に用いる Mg VII 輝線強度 比の衝突輻射モデルの構築、及び評価 神原永昌(総合研究大学院大学)	10:06	M31a RS CVn 型連星におけるスーパーフレア に伴う高速プロミネンス噴出 井上峻(京都大学)
14:48	M22a 自己相似磁気リコネクションモデルの数 値的研究 新田伸也(筑波技術大学)	10:18	M32a M 型星フレアの彩層線輝線輪郭の青方 偏移現象 II: NICER での X 線同時観測 野津湧太(コロラド大学/東京工業大学)
15:00	M23a 豊川強度偏波計プロットデータ(1958年 -1978年)のデジタル化と過去の大フレア の規模推定 増田智(名古屋大学)	10:30	M33a 磁気トルネードによるコロナへの突発的 エネルギー輸送 国吉秀鷹(東京大学)
15:12	M24a オートエンコーダによるデータ圧縮を用 いた太陽フレア予測モデルの開発 田所拓馬(新潟大学)	10:42	M34a 狭帯域チューナブルフィルターを用いた H α /HeI 1083nm 同時撮像分光による彩 層ダイナミクスの観測 一本潔(京都大学)
15:24	M25a 野辺山電波ヘリオグラフを用いたフレア に伴う電子の加速・伝搬過程 松本圭太郎(名古屋大学)	10:54	M35a 深層学習によるフィラメント自動検出に おける分割問題の解消 安藤秀一(新潟大学)
15:36	M26a γ 線天文衛星 Fermi を用いた太陽フレア の Time-of-Flight 解析 矢倉昌也(名古屋大学)	11:06	M36a A Fast-filament Eruption Observed in the H α Line: Imaging Spectroscopy Diagnostic and Modeling Denis Pavel Cabezas (Kyoto University)
15:48	M27a Comparison on Ca II 8542 Å synthetic Stokes profile between magnetic reconnection and shock wave in simulated Solar chromosphere ZHOU Xinyu (The University of Tokyo)	11:18	M37a 飛騨天文台 DST 搭載の赤外カメラ評価 と垂直分光器を用いた He I 10830 Å に よるダークフィラメントの偏光観測 山崎大輝(京都大学)
16:00	質疑応答(10分)	11:30	質疑応答(10分)

N. 恒星・恒星進化

9月14日(水) 午後・I会場		9月14日(水) 午後・D会場	
13:00	M38a 高感度太陽紫外線分光観測衛星 Solar-C(EUVST)の最新状況(2022年/秋) 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)	13:00	N01a 重力崩壊型超新星の3次元 MHD 計算に基づく中性子星諸量の分布 中村航(福岡大学)
13:12	M39a SUNRISE-3 大気球太陽観測実験:フライト観測速報 久保雅仁(国立天文台)	13:12	N02a 非平衡左巻きニュートリノがもたらす磁場の逆カスケードメカニズム 松本仁(慶應義塾大学)
13:24	M40a 磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指す衛星計画 PhoENiX の進捗報告(2022年秋) 成影典之(国立天文台)	13:24	N03a 重力崩壊型超新星爆発における速いニュートリノ振動の元素合成への影響 藤本信一郎(熊本高等専門学校)
13:36	M41a 太陽差動回転生成に重要な乱流の空間スケールの調査 森敬都(千葉大学)	13:36	N04a 時間進化の遅い IIb 型超新星 SN 2019 tua の測光分光観測 中岡竜也(広島大学)
13:48	M42a 対流層全球計算内で働く α 効果の抑制 畠田遼太(東京大学)	13:48	N05a A peculiar Type Ia supernova with subluminescent and high-velocity features 山中雅之(京都大学)
14:00	M43a 数値シミュレーションと機械学習による太陽対流層の内部推定 正木寛之(千葉大学)	14:00	N06a 極めて明るい特異な Ia 型超新星 SN 2020hvf の長期観測 川端美穂(京都大学)
14:12	M44a 深層学習による太陽高解像度画像の復元:補償光学を考慮した検証 福満翔(東京大学/国立天文台)	14:12	N07a II/IIc 型超新星の光度曲線サンプルとモデル解析 平松大地(Center for Astrophysics Harvard & Smithsonian)
14:24	M45a 多波長分光観測による光球振動のエネルギー輸送 松田有輝(京都大学)	14:24	N08a Ia 型超新星のスペクトル細分類ごとの光度曲線の多様性 越諒太郎(東京大学)
14:36	M46a SMART/SDDI および DST による太陽大気における波動の伝播と磁場との関係の観測的研究 白戸春日(京都大学)	14:36	N09a 超新星コアにおける停滞衝撃波を伴う定常降着流構造への一般相対論効果の影響 澤田涼(東京大学)
14:48	M47a 磁化プラズマ中の2種類の電場の役割 柴崎清登(太陽物理学研究所)	14:48	N10a 星の重力崩壊計算のための一般相対論的ボルツマン輻射流体コードの開発 原田了(理化学研究所)
15:00	質疑応答(10分)	15:00	N11a 星周物質と相互作用する超新星のスペクトル計算:星周物質構造が水素ライン形状へ与える影響 石井彩子(山形大学)
		15:12	N12a 白色矮星連星合体で生じた残骸 J005311 は SN 1181 の残骸か? 黄天鋭(東京大学)

15:24	N13b	新たなセファイドに対する近赤外組成測定にもとづく銀河系円盤研究の検討 松永典之(東京大学)	9月15日(木) 午前・D会場
15:24	N14b	可視分光装置MALLSとトリウム5989Åの吸収線による恒星の組成調査 古塚来未(兵庫県立大学)	
15:24	N15b	ダスト過剰なOH/IR星に付随するH ₂ Oレーザーを用いたVERAによる年周視差計測 中川亜紀治(鹿児島大学)	
	N16c	赤色超巨星をトレーサーとした系外銀河の化学組成研究に向けて一太陽近傍天体を用いた解析手法の試験 谷口大輔(東京大学)	
	N17c	アクションを考慮した重力崩壊型超新星爆発の親星依存性 高田剣(福岡大学)	
15:36		質疑応答(10分)	
09:30	N18a	超新星爆発の初期放射で探る爆発直前の大質量星の姿 村井結太(東北大学)	
09:42	N19a	超新星残骸観測で探る大質量星の後期進化における物質混合 佐藤寿紀(立教大学)	
09:54	N20a	差動回転の効果を加味した低質量星の自転進化モデルの検証 徳野鷹人(東京大学)	
10:06	N21a	恒星風を伴う低質量星へのHoyle-Lyttleton降着 田中周太(青山学院大学)	
10:18	N22a	μ Cepからの磁気駆動風 保田悠紀(北海道大学)	
10:30	N23a	星震学的解析を用いた太陽型星全球熱対流計算の検証 八田良樹(名古屋大学)	
10:42	N24a	大規模シミュレーションで解明した「反太陽型の差動回転は存在しない」可能性 堀田英之(千葉大学)	
10:54	N25a	太陽型星の自転に伴う光度変動の振幅と自転周期・年齢の関係 増田賢人(大阪大学)	
11:06	N26a	H α 線の長期モニタリングによる τ Booの磁気活動性 李尚姫(東京工業大学)	
11:18	N27a	F型主系列星のコロナ放射の系統的解析とG型星との観測的比較 三石郁之(名古屋大学)	
11:30		質疑応答(10分)	

P1. 星・惑星形成 (星形成)

9月15日(木) 午後・D会場		9月13日(火) 午前・E会場	
13:00	N28a 近赤外線スペクトル解析による金属欠乏星のケイ素・ストロンチウム組成 青木和光(国立天文台)	10:30	P101a 星団形成領域 GGD12-15 の観測 下井倉ともみ(大妻女子大学)
13:12	N29a 明るい金属欠乏星の狭帯域測光探査および中分散分光追観測 岡田寛子(甲南大学)	10:42	P102a ALMA 望遠鏡で探る Monoceros R2 における大質量星形成 鈴木大誠(大阪公立大学)
13:24	N30a 回転する白色矮星の擬似的進化計算 小形美沙(早稲田大学)	10:54	P103a eQ NRO45 observations of the G358.93-0.03 high-mass star forming region Burns Ross Alexander (NAOJ)
13:36	N31a LAMOST/Subaru 望遠鏡によって発見された r プロセス過剰な金属欠乏星の化学組成 本田敏志(兵庫県立大学)	11:06	P104a 低金属量大質量星形成領域 Sh2-209 における CO マッピング観測 泉奈都子(ASIAA)
13:48	N32a 大質量星コアの単調性 高橋亘(東北大学)	11:18	P105a BISTRO Project Status (12) 古屋玲(徳島大学)
14:00	N33a RV Tau 型変光星 R Sct の SiO メーザー: 17 年後の再観測 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)	11:30	P106a 連星軌道の進化: 磁場による多様な連星間距離を持つ連星系の形成過程 松本倫明(法政大学)
14:12	N34a 銀河面からの軟 X 線背景放射 (9) 安福千貴(名古屋大学)	11:42	P107a ALMA fragmented source identification in OMC-2 north 佐藤亜紗子(九州大学)
14:24	N35a WR140 の X 線分光解析による衝撃波プラズマの物理状態の解明 宮本明日香(東京都立大学)	11:54	P108a ALMA アーカイブデータを用いた太陽系近傍星形成領域における原始星アウトフローの統計的研究 (5): Ophiucus 領域内における原始星周囲のガス構造 山崎駿(九州大学)
14:36	N36a WR125 の中間赤外線スペクトルにおける幅広い $8\mu\text{m}$ 未同定赤外バンドの検出 遠藤いずみ(東京大学)	12:06	P109a Multiple Asymmetric Infalling Filaments Discovered in a Class 0 Protostar Yao-Lun Yang (RIKEN)
14:48	質疑応答(10分)	12:18	P110a Class I 低質量原始星天体 Elias 29 の円盤構造における落下運動の可能性 大屋瑤子(東京大学)
		12:30	P111b 周期的な強度変動を示す 6.7GHz メタノールメーザーに対するなゆた望遠鏡を用いた近赤外線モニター観測 I 田辺義浩(茨城大学)
		12:30	P112b R CrA 領域における若い超低質量天体の近赤外分光観測 金井昂大(埼玉大学)
		12:42	質疑応答(10分)

9月13日(火) 午後・E会場		9月14日(水) 午前・E会場	
14:00	P113a 超コンパクトHII領域 W49A Source A2の膨張電離リング 宮脇亮介(桜美林大学)	09:30	P125a 降着期における乱流磁場増幅とその初代星連星形成への影響 定成 健児エリック(東北大学)
14:12	P114a 磁気流体シミュレーションで探る Class 0/I 原始星形成領域 平野信吾(東京大学)	09:42	P126a 初代星形成シミュレーション:長距離大質量連星の形成 杉村和幸(京都大学)
14:24	P115a ダストの運動を考慮した星周円盤分裂の金属量依存性 松木場亮喜(京都大学)	09:54	P127a 初代星形成における大質量原始星輻射流体計算に向けて 木村和貴(京都大学)
14:36	P116a eQ受信機を用いた近傍星形成領域 TMC-1の観測 中村文隆(国立天文台)	10:06	P128a 宇宙最初の cold accretion の発現と超大質量星形成の可能性 喜友名正樹(京都大学)
14:48	P117a NLTE Analysis of SO in Star-forming Regions Ziwei E. Zhang (RIKEN)	10:18	P129a 初代星の超新星噴出物の構造が金属欠乏星の元素組成に与える影響 千秋元(国立天文台)
15:00	P118a ALMA分子輝線観測で迫る低質量 Class 0 原始星天体 IRAS15398-3359の円盤 H ₂ O, CO ₂ スノーライン 野津翔太(理化学研究所)	10:30	P130a 低金属環境における初期質量関数と輻射フィードバックの影響 鄭昇明(東北大学)
15:12	P119a 低質量原始星 B335におけるCH ₃ OHの重水素化物 大小田結貴(東京大学)	10:42	P131a 活動銀河核広輝線領域の[Fe/Mg]組成比から迫る銀河中心初期質量関数 豊内大輔(東京大学)
15:24	P120a 星間衝撃波により形成される圧縮層の化学進化 小道雄斗(東京大学)	10:54	P132a 近傍渦巻銀河における巨大分子雲の進化 出町史夏(名古屋大学)
15:36	P121a Observational Evidence for Cyanopolyynes Chemistry around High-Mass Stars 谷口琴美(国立天文台)	11:06	P133a 球状星団形成期の星の合体と超大質量星形成 藤井通子(東京大学)
15:48	P122b Chemical Survey Observations toward Intermediate-Mass Protostars 谷口琴美(国立天文台)	11:18	P134b 分子雲コアの収縮におけるダストの成長破壊と非理想磁気流体効果への影響 川崎良寛(九州大学)
15:48	P123b 星なし分子雲の赤外線観測 伊藤洋一(兵庫県立大学)	11:18	P135b 磁化したフィラメント状分子雲における分子雲コア角運動量の進化 三杉佳明(名古屋大学)
15:48	P124b 前主系列星の彩層活動と黒点による光度変化の調査 山下真依(兵庫県立大学)	11:18	P136b 回転と磁場が星団形成過程に与える影響 木下真一(東京大学)
16:00	質疑応答(10分)	11:30	質疑応答(10分)

9月14日(水) 午後・E会場		15:24	P149a HIガス衝突による大質量星団形成における星形成フィードバック効果の影響 前田龍之介(名古屋大学)
13:00	P137a ALMAによる大マゼラン雲大質量原始星に付随する高密度分子ガスの観測(1) 原田直人(九州大学)	15:36	質疑応答(10分)
13:12	P138a ALMAによる大マゼラン雲大質量原始星に付随する高密度分子ガスの観測(2): 星団形成初期段階 N159W-North 大質量クランプの特徴 徳田一起(九州大学/国立天文台)		
13:24	P139a マゼラン雲金属量環境での分子雲形成 小林将人(国立天文台)		
13:36	P140a YSOの系統的観測で探る大マゼラン雲の星形成活動 國生拓摩(名古屋大学)		
13:48	P141a 大マゼラン雲におけるO型星アソシエーションの形成 立原研悟(名古屋大学)		
14:00	P142a フィラメント分子雲の力学進化における偏波構造 吹原瑤(鹿児島大学)		
14:12	P143a 星形成フィラメント進化過程解明に向けたMHDシミュレーション 安部大晟(名古屋大学)		
14:24	P144a 磁場に貫かれたフィラメント状分子雲同士の衝突進化シミュレーション 柏木頼我(国立天文台/総合研究大学院大学)		
14:36	P145a ダスト連続波を用いて分子雲コアの質量関数を導出する方法 竹村英晃(総合研究大学院大学/国立天文台)		
14:48	P146a 分子雲コアの周辺環境の違いによる質量降着率と星形成効率の変化 野崎信吾(九州大学)		
15:00	P147a Corona Australis 分子雲 IRS7 領域における分子雲コアの性質と星団形成 深谷直史(名古屋大学)		
15:12	P148a The most massive cores in the 70 μm -dark massive clumps 森井嘉穂(東京大学)		

P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)

9月15日(木) 午前・A会場		11:42	P213b 原始惑星系円盤の初期進化段階における宇宙線強度とダスト量の影響 小林雄大(鹿児島大学)
09:30	P201a Early Planet Formation in Embedded Disks (eDisk): First-look results of CB68 城戸未宇(鹿児島大学)	11:54	質疑応答(10分)
09:42	P202a Early Planet Formation in Embedded Disks (eDisk): First-look results of IRAS 16253-2429 麻生有佑(韓国天文研究院)	9月15日(木) 午後・A会場	
09:54	P203a Early Planet Formation in Embedded Disks (eDisk): First-look results of L1489 IRS 大和義英(東京大学)	13:00	P214a 大局的非理想磁気流体シミュレーションから明らかにする原始惑星系円盤の温度構造 森昇志(東北大学)
10:06	P204a Class I 原始星 L1489 における円盤形成初期のダスト成長と構造形成 大橋聡史(理化学研究所)	13:12	P215a 円盤風を考慮した原始惑星系円盤ガス面密度進化の1次元モデル 瀧哲朗(国立天文台)
10:18	P205a Cloudlet Capture Model for the Streamer Associated with DG Tau 花輪知幸(千葉大学)	13:24	P216a 原始惑星系円盤ガスにおけるC, N, O元素の枯渇 古家健次(国立天文台)
10:30	P206a 表層で降着する原始惑星系円盤におけるダスト濃縮 奥住聡(東京工業大学)	13:36	P217a 前期褐色矮星 ISO-Oph 200 周囲の原始惑星系円盤 武藤恭之(工学院大学)
10:42	P207a 円盤鉛直シア乱流下のダストの沈澱と拡散: 平衡状態はあるか? 福原優弥(東京工業大学)	13:48	P218a Subaru/HDSを用いたスペクトロ・アストロメトリによる形成中の惑星探査 吉田有宏(総合研究大学院大学/国立天文台)
10:54	P208a ダストの衝突破壊における破片の質量分布と衝突速度と質量比の関係性 長谷川幸彦(東京大学)	14:00	P219a 原始惑星系円盤形成過程における自己重力的分裂過程 高橋実道(国立天文台)
11:06	P209a 原始惑星系円盤におけるシリケートダストの運動: 彗星中のシリケート結晶化率の推定 岡本珠実(東京工業大学)	14:12	P220a ダストから惑星までの統一シミュレーション: 円盤温度とダスト密度依存性 小林浩(名古屋大学)
11:18	P210a 付着N体計算で探るダスト集合体のせん断強度と内部構造変化 辰馬未沙子(東京工業大学)	14:24	P221a 重い微惑星系円盤内で成長する原始木星への微惑星集積 柴田翔(チューリッヒ大学)
11:30	P211a 固体小惑星を起源とする周白色矮星円盤の降着進化 奥谷彩香(国立天文台)	14:36	P222a 惑星への質量降着過程を考慮した超木星質量惑星のギャップ形成とそのパラメータ依存性 田中佑希(東北大学)
11:42	P212b 原始惑星系円盤における乱流とダスト成長 河原昌平(筑波大学)	14:48	P223a 断熱的な原始惑星系円盤中の惑星ギャップに付随する微小構造 小野智弘(東京工業大学)

P3. 星・惑星形成 (惑星系)

		9月13日(火) 午前・G会場	
15:00	P224a PDS 70 c の周惑星円盤内で進化する ダストからの熱放射 芝池諭人(ベルン大学)	10:30	P301a 原始惑星の重力散乱と衝突合体によっ て形成される惑星系の軌道構造 II 小久保英一郎(国立天文台)
15:12	質疑応答(10分)	10:42	P302a ベブル集積で形成される原始惑星の自 転: 原始惑星周りの複雑なガス流の影響 高岡航輔(東京工業大学)
		10:54	P303a 微惑星衝突に伴う固体蒸発量とその状 態方程式依存性の検証 宮山隆志(名古屋大学)
		11:06	P304a 巨大衝突後の惑星大気の長期安定性 および大気組成への影響 黒崎健二(名古屋大学)
		11:18	P305a M型星周りにおける地球型大気の保持 の可能性 中山陽史(立教大学)
		11:30	P306a 潮汐固定された系外地球型惑星の気候 と表面水分分布の関係 小玉貴則(東京大学)
		11:42	P307a 初期地球の冥王代初期および後期にお ける表面放射線量 山敷庸亮(京都大学)
		11:54	P308a 短周期惑星大気の光蒸発過程の物理 的理解 三谷啓人(東京大学)
		12:06	P309a 階層的三体系の不安定時間スケール の軌道要素依存性 II 林利憲(東京大学)
		12:18	P310a 階層的3体系における連星合体: 重力波 放出による合体 稲熊穂乃里(東京大学)
		12:30	質疑応答(10分)

9月13日(火) 午後・G会場		9月14日(水) 午前・G会場	
14:00	P311a 原始惑星系円盤に埋もれた原始惑星 AB Aur b の発見 鵜山太智 (NAOJ/Caltech-IPAC/NEExScI)	09:30	P320a ヘルクレス座 τ 流星群の出現(1) —分裂彗星核からの流星群— 渡部潤一(国立天文台)
14:12	P312a ヒアデス星団に属する恒星 HIP 21152 を公転する褐色矮星の発見と力学質量 葛原昌幸(アストロバイオロジーセンター)	09:42	P321a ヘルクレス座 τ 流星群の出現(2) —出現数の時間推移と出現規模の解析— 佐藤幹哉(国立天文台)
14:24	P313a すばる望遠鏡 IRD による TOI-654 の視線速度の複数惑星モデリング 幾田佳(東京大学)	09:54	P322a ヘルクレス座 τ 流星群の出現(3) —放射点移動とその離散度について— 土屋智恵(国立天文台)
14:36	P314a 主星金属量・年齢依存性を考慮したホットジュピターの存在頻度 宮崎翔太(大阪大学)	10:06	P323a 近赤外線における黄道光偏光観測による惑星間塵の組成と粒径の制約 瀧本幸司(九州工業大学)
14:48	P315a The day-side atmosphere of WASP-33b seen through the InfraRed Doppler instrument Stevanus Kristianto Nugroho (Astrobiology Center/NAOJ)	10:18	P324a 微小高速自転小惑星 2022 JL の即時モニタリング観測 紅山仁(東京大学)
15:00	P316a スパースモデリングとスペクトル脱混合による惑星マッピングの発展 桑田敦基(東京大学)	10:30	P325a 小惑星分布に対する共鳴点近傍におけるヒルダ群小惑星の運動の安定性の根拠と Kirkwood gaps での不安定性の根拠 浅野光祐(大阪府立大学)
15:12	P317b 系外惑星大気探査のためのオープンソース・プロジェクト: ExoJAX 河原創(東京大学)	10:42	P326a Fermi-LAT による木星トロヤ群からのガンマ線アルベド放射と小惑星サイズ分布への制限 長澤俊作(東京大学 Kavli IPMU)
	P318c Hipparcos-Gaia 固有運動カタログを用いた直接撮像探査: 複雑な系における低質量伴星の発見 鵜山太智 (NAOJ/Caltech-IPAC/NEExScI)	10:54	P327a すばるHSC-SSP PDR2データ中の移動天体探査と既知太陽系小天体カタログ作成 大坪貴文(国立天文台)
	P319c Earth through the looking glass: how frequently are we detected by other civilizations through photometric microlensing? Suphakorn SUPHAPOLTHAWORN (Hokkaido University)	11:06	P328a PONCOTS による木星での巨大衝突閃光現象の発見および詳細観測 有松亘(京都大学)
15:24	質疑応答(10分)	11:18	P329b 「あかり」がとらえた遠赤外線全天画像中の黄道面付近ダストバンド構造とダスト供給源小惑星族の推定 大坪貴文(国立天文台)
		11:18	P330b 時間変動する火星大気重力波を考慮したテラヘルツ分光観測の検討 山内良斗(大阪公立大学)
			P331c 4個の小惑星の偏光観測の再解析によるデータ改善と分光分類との比較 匠あさみ(放送大学/国立天文台)
		11:30	質疑応答(10分)

Q. 星間現象

9月12日(火) 午前・A会場		9月12日(火) 午後・A会場	
10:30	Q01a Precise measurement of line intensities S_{μ}^2 of CH ₂ DOH by using emission-type millimeter and submillimeter-wave spectrometer SUMIRE 小山貴裕(理化学研究所)	14:00	Q12a 中間速度 H I 雲の詳細研究(2) 銀河系外起源を支持する新たな証拠 福井康雄(名古屋大学)
10:42	Q02a ALMA 較正用天体に対する分子吸収線探査 I: サーベイ概要 吉村勇紀(東京大学)	14:12	Q13a ダスト内部エネルギーの制限を考慮した星間ダスト熱史追跡シミュレーションコードの開発 天崎賢至(東北大学)
10:54	Q03a ALMA 較正用天体に対する分子吸収線探査 II: QSO J1851+0035 方向の銀河系内分子吸収線系の物理状態と化学組成 成田佳奈香(東京大学)	14:24	Q14a 星間媒質中を高速移動する重力源が形成する星間コントレイル 北島欽大(名古屋大学)
11:06	Q04a ALMA 望遠鏡による吸収線観測で探る分子雲内部の中性炭素と一酸化炭素の関係 宮本祐介(福井工業大学)	14:36	Q15a 広帯域電波観測で探る銀河系巨大構造の起源 岩下稜司(早稲田大学)
11:18	Q05a 野辺山 45m 鏡を用いた銀河面第一象限外縁部における分子雲探査 小西亜侑(大阪公立大学)	14:48	Q16a 「すざく」を用いた銀河系高温ガスハローの観測(2) 上田将暉(東京理科大学)
11:30	Q06a 温度分布を用いた KAGONMA 天体の分子雲への星形成フィードバック 竹葉理史(鹿児島大学)	15:00	Q17a すざく衛星による銀河面拡散 X 線放射の空間構造の調査 山本久美子(奈良女子大学)
11:42	Q07a 分子輝線データを用いた分子雲の密度階層構造解析 村瀬建(鹿児島大学)	15:12	Q18a 銀河系内中性子星連星合体残骸からの核ガンマ線放射診断 寺田幸功(埼玉大学)
11:54	Q08a ALMA ACA による大マゼラン雲超広域 CO 探査(3): Molecular ridge 領域における分子雲の統計的性質 北野尚弥(大阪公立大学)	15:24	Q19a 東アジア天文台 James Clerk Maxwell Telescopeサブミリ波高感度偏波観測から明らかにされた超大質量ブラックホール Sgr A* への質量降着におけるCNDと磁場の役割 佐藤和樹(鹿児島大学)
12:06	Q09a ALMA ACA による小マゼラン雲超広域 CO 探査(3): N83/N84 領域 松本健(大阪公立大学)	15:36	Q20a Tibet 空気シャワー観測装置による天体からの sub-PeV ガンマ線の観測 加藤勢(東京大学)
12:18	Q10b 大質量星形成領域 Sh 2-255, Sh 2-257 に対するアンモニアマッピング観測 河野樹人(名古屋市科学館)	15:48	Q21a Tibet 空気シャワー観測装置による sub-PeV 銀河拡散ガンマ線の観測 川田和正(東京大学)
12:18	Q11b CCS ($J_N=4_3-3_2$) 輝線の静止周波数と eQ 受信機を用いた高周波数分解能観測 中村文隆(国立天文台)	16:00	Q22b <i>Suzaku</i> で探る Orion-Eridanus Superbubble を満たす高温ガスの起源 福島光太郎(東京理科大学)
12:30	質疑応答(10分)	16:12	質疑応答(10分)

Q. 星間現象

9月13日(水) 午前・A会場		9月13日(水) 午後・A会場	
09:30	Q23a Overview of WR DustERS: a JWST program of colliding wind Wolf-Rayet binaries 松原英雄(宇宙航空研究開発機構)	13:00	Q33a 超新星残骸 3C396 における鉄 K 輝線の調査 信川久実子(近畿大学)
09:42	Q24a 電波超新星のマルコフ連鎖モンテカルロ解析 1: 星周物質の密度と衝撃波加速の効率 松岡知紀(京都大学)	13:12	Q34a 超新星残骸における低エネルギー宇宙線起源の中性鉄輝線の探査 森川朋美(近畿大学)
09:54	Q25a 宇宙線源分布の統計的揺らぎと CALET 電子・陽電子宇宙線スペクトル 浅野勝晃(東京大学)	13:24	Q35a すざく衛星による超新星残骸 G344.7 - 0.1 の空間構造の調査 藤重朝妃(奈良女子大学)
10:06	Q26a Ia型超新星残骸 SN 1006 に付随する膨張 HI シェルの発見 佐野栄俊(岐阜大学)	13:36	Q36a 再結合優勢プラズマを持つ超新星残骸 W49B の空間的な温度構造と進化過程 鈴木那梨(奈良女子大学)
10:18	Q27a Suzaku による超新星残骸 G78.2+2.1 北部領域からの非熱的放射の発見及びその起源の検討 立石大(埼玉大学)	13:48	Q37a X線天文衛星「すざく」による超新星残骸 3C 400.2 のプラズマ調査 小沼将天(近畿大学)
10:30	Q28a ガンマ線超新星残骸 Puppis A に付随する分子ガスと原子ガス(2) 有賀麻貴(名古屋大学)	14:00	Q38a Chandra ACIS の粒子バックグラウンドスペクトル推定ツール mkacispback の開発と広がった X 線天体の解析への適用 鈴木寛大(甲南大学)
10:42	Q29a γ 線 SNR W51C における宇宙線による C ⁰ /CO アバundance比の空間変化 山岸光義(東京大学)	14:12	Q39a 無衝突衝撃波でのイオン加熱機構: XRISM による宇宙線加速効率の制限 霜田治朗(名古屋大学)
10:54	Q30a Chandra 衛星および XMM-Newton 衛星の観測を用いた SS 433/W50 における粒子加速の研究 佳山一帆(京都大学)	14:24	Q40a X線天文衛星「すざく」で観測した彗星におけるコマの中性気体組成分析 関口るな(東京都立大学)
11:06	Q31a 超新星残骸 RX J1713.7 - 3946 南西部の衝撃波速度の測定 田中孝明(甲南大学)	14:36	質疑応答(10分)
11:18	Q32a 2相星間ガスと相互作用をする超新星残骸 RX J1713.7-3946 からのガンマ線放射 藤田裕(東京都立大学)		
11:30	質疑応答(10分)		

R. 銀河

9月15日(木) 午前・E会場		11:18	R11b	分子雲衝突による星形成と銀河シミュレーション: 分子雲衝突の速度分布と頻度 堀江秀(北海道大学)
09:30	R01a			Sub-kpc scale gas density histogram of the Galactic molecular gas: a new statistical method to characterise the galactic-scale gas density structure II 松坂怜(鹿児島大学)
09:42	R02a			Mapping large scale structures and projection corrected environmental dependence of star forming activities at $z \sim 0.4$ and 1.5 RONALDO LAISHRAM (Tohoku University)
09:54	R03a	11:30		NANTEN 銀河面サーベイデータを用いた巨大分子雲の Type 分類 山田麟(名古屋大学)
10:06	R04a			Luminosity function of supernova host galaxy Liang Zhuoxi (The University of Tokyo)
10:18	R05a			Probing physical conditions of molecular gas in nearby galaxies with CO multi-line excitation analyses Suphakorn SUPHAPOLTHAWORN (Hokkaido University)
10:30	R06a			CO excitation and its connection to star formation and outflow in NGC 1365 Fumi Egusa (The University of Tokyo)
10:42	R07a			スターバースト銀河 NGC 253 中心領域の衝撃波での CO2 氷の昇華 原田ななせ(国立天文台)
10:54	R08a			遠方銀河で観測された高い [O III] 88 μm / [C II] 158 μm 光度比の原因 - 近傍銀河からの示唆 浦遼太(筑波大学)
11:06	R09a			銀河 NGC 1068 における 60 pc 分解能での HCN(1-0)/CO(1-0) 強度比による高密度ガスの研究 渡邊友海(福島大学)
11:18	R10b			JWST 撮像観測シミュレーションから探る近傍 LIRG NGC7469 の銀河核領域における解析手法の検討 星岡駿志(広島大学)
				11:18 R12b Molecular line radiative transfer in a Monte Carlo radiative transfer SKIRT 松本光生(Ghent大学/東京大学/宇宙航空研究開発機構)
				R13c 非等方的速度分布の初期条件の下での球状星団の力学的進化: 多質量成分系の場合 高橋広治(埼玉工業大学)
				11:30 質疑応答(10分)
9月15日(木) 午後・E会場				
		13:00	R14a	爆発的星形成銀河 NGC 253 中心部で発見された shell 型高速度コンパクト雲 嶋田理央(慶應義塾大学)
		13:12	R15a	FDPS - SCF: 円盤銀河の高速 N 体計算コードの開発 穂積俊輔(滋賀大学)
		13:24	R16a	銀河系円盤外縁部の運動学的リッジ構造が若い星にも存在することの発見 船越菜月(東京大学)
		13:36	R17a	COSMOS 領域における新たなポーラーリング銀河の発見 西村実(放送大学)
		13:48	R18a	New Strong Gravitational Lens Candidates from the HSC SSP Kenneth Wong (NAOJ)
		14:00		質疑応答(10分)

S. 活動銀河核

S. 活動銀河核

9月13日(火) 午前・D会場		12:30	S13b	JVN 山口-日立基線 VLBI を用いた超高エネルギーガンマ線 AGN 候補天体の探査 藤田大輔(山口大学)
10:30	S01a			
		12:30	S14b	ポーラーダストを含む活動銀河核トールスからの赤外線 SED モデル: Circinus 銀河との比較 小川翔司(京都大学)
10:42	S02a			
			S15c	High Spatial Resolution NIR Studies on a Host Galaxy of a γ -ray Emitting Blazar 諸隈智貴(千葉工業大学)
10:54	S03a			
			S16c	The discovery of a candidate of a quasar with periodic UV/optical variability 堀内貴史(東京大学)
11:06	S04a			
		12:42		質疑応答(10分)
11:18	S05a			
11:30	S06a			
11:42	S07a			
11:54	S08a			
12:06	S09a			
12:18	S10b			
12:18	S11b			
12:18	S12b			

9月13日(火) 午後・D会場		9月14日(水) 午前・D会場	
14:00	S17a WISE 衛星を用いた NEP 領域における 中低光度 AGN の反響マッピング 恒次翔一(東京大学)	09:30	S28a 活動銀河核円盤風のセンチ波電波放射 への寄与 山田知也(大阪大学)
14:12	S18a AGN 近赤外線放射の時間変動における 高温ダスト成分の卓越性評価 水越翔一郎(東京大学)	09:42	S29a AGN トーラス内部の CO 振動回転遷移 吸収線形成の理論 松本光生(Ghent大学/東京大学/宇宙 航空研究開発機構)
14:24	S19a Subaru/HSC SSP 可視光サーベイと VLA/ FIRST電波カタログを用いた 29天体の radio-loud dust obscured galaxies の発見 福地輝(東北大学)	09:54	S30a 輻射駆動アウトフロー起源の BLR 和田桂一(鹿児島大学)
14:36	S20a 可視変光選択された活動銀河核の調査 星篤志(東北大学)	10:06	S31a 超高速アウトフローの時間変動と周辺環 境への影響 工藤祐己(鹿児島大学)
14:48	S21a Optical Variability of Blazars in the Tomo-e Gozen Northern Sky Transient Survey Zhang Tianfang (The University of Tokyo)	10:18	S32a 輻射駆動噴水モデルに基づく原子分子ガ ス輝線の輻射輸送計算と観測との比較 馬場俊介(鹿児島大学)
15:00	S22a コクーン膨張力学から探る 3C84 ミニ ジェットのパワーとプラズマ組成 川勝望(呉工業高等専門学校)	10:30	S33a 高解像度サブミリ波水素再結合線による AGN 電離アウトフローの検出 泉拓磨(国立天文台/東京都立大学)
15:12	S23a AGN ジェットのプラズマ供給源における 二流体不安定性 小出眞路(熊本大学)	10:42	S34a 2型セイファート銀河 NGC 5506 における AGN アウトフローからの非熱的放射の検出 永井洋(国立天文台)
15:24	S24a 相対論的流体中から放出された光子の 多重散乱効果 高橋労太(苫小牧工業高等専門学校)	10:54	S35a 近傍電波銀河 NGC 4261 の 100-pc スケ ール高密度ガス円盤 澤田-佐藤 聡子(大阪公立大学)
15:36	S25a コンプトン冷却されたブラックホール降着 流の輻射磁気流体シミュレーション 五十嵐太一(千葉大学)	11:06	S36a Discovery of Fading AGNs in ULIRGs with Kpc-scale Fast Winds CHEN XIAOYANG (NAOJ)
15:48	S26a ブラックホール磁気圏における磁気流体 波の伝播 高橋真聡(愛知教育大学)	11:18	S37a 多波長観測による超/高光度赤外線銀 河が持つ X 線で暗い活動銀河核の調査 山田智史(理化学研究所)
16:00	S27a 強磁場降着流ガンマ線放射モデル:電子 加熱率の影響 久世陸(東北大学)	11:30	質疑応答(10分)
16:12	質疑応答(10分)		

T. 銀河団

U. 宇宙論

9月13日(火) 午前・B会場		9月15日(木) 午前・I会場			
10:30	T01a	Large scale structures and galaxy evolution in a $z=0.9$ supercluster traced by unique pair narrow-band imaging Zhaoran Liu (Tohoku University)	09:30	U01a	宇宙論的 VLASOV シミュレーションで探るニュートリノの性質: N -body シミュレーションとの比較 田中賢(京都大学)
10:42	T02a	すばる望遠鏡 HSC を用いた銀河団メンバー銀河の形態と環境効果の調査 柳川晏里(奈良女子大学)	09:42	U02a	Simons Array 実験, POLARBEAR 実験の蟹座星雲の観測による Axion 探索 山田恭平(東京大学)
10:54	T03a	HSC-SSP 領域にある高赤方偏移銀河団のスケーリング関係と力学的進化 吉本愛使(奈良女子大学)	09:54	U03a	インフレーション起源 B モード検出に向けた E/B モード分離手法の性能評価 茅根裕司(東京大学)
11:06	T04a	cool core 銀河団における、cool core、cold fronts、spiral structure の起源 井上一(宇宙航空研究開発機構)	10:06	U04a	精密銀河団宇宙論に向けた銀河団形成史と観測量の関係の研究 Seongwhan YOON(名古屋大学)
11:18	T05a	X線・可視光・近赤外線データを用いた近傍銀河団の重元素質量-銀河質量比 近藤麻里恵(埼玉大学)	10:18	U05a	宇宙の大規模構造の自律的エミュレータに向けたサンプリング法の開発 西道啓博(京都大学)
11:30	T06a	銀河団などの中心領域にみられる平坦な元素 $/Fe$ 個数比分布 福島光太郎(東京理科大学)	10:30	U06a	機械学習を用いた SDSS 銀河パワースペクトルの宇宙論解析 小林洋祐(University of Arizona)
11:42	T07a	すざく衛星と WISE 衛星の観測による銀河団の鉄質量-銀河光度比 荒川一樹(東京理科大学)	10:42	U07a	21cm 線強度マップの画像解析による暗黒物質質量探査 村上広椰(名古屋大学)
11:54	T08a	X線観測による銀河団中心領域の高温ガスの鉄分布の進化 土屋采那(東京理科大学)	10:54	U08a	μ GMRT による相互相関を用いた再電離終了時期 21cm 線の探査 吉浦伸太郎(国立天文台)
12:06	T09a	銀河団衝突による電波ハローの駆動と大質量銀河団からのニュートリノ背景放射 西脇公祐(東京大学)	11:06	U09a	月面低周波電波干渉計による科学: 暗黒時代 21cm 線による宇宙論 山内大介(神奈川大学)
	T10c	Galaxy Group Finding via Unsupervised Machine Learning Hai-Xia Ma (Nagoya University)	11:18	U10b	Fast method for generating mock line intensity maps based on hydrodynamical simulations Rui Lan Zhang (The University of Tokyo)
12:18		質疑応答(10分)	11:18	U11b	宇宙再電離期における天体形成の可能性 照井勇登(防衛大学校)
			11:30		質疑応答(10分)

V1. 観測機器 (電波)

9月15日(木) 午後・I会場		9月14日(水) 午前・F会場	
13:00	U12a 粒子軌道に基づくダークマターハロー中心部の密度構造の解析 柄本耀介(京都大学)	09:30	V101a 広帯域受信機のための高温超伝導マルチバンド帯域阻止フィルタの基礎検討 湯山義崇(山梨大学)
13:12	U13a ダークマターハロー由来の熱制動放射 阿部克哉(名古屋大学)	09:42	V102a 超低損失立体回路の実現に向けた超伝導ニオブ導波管の伝送特性の測定 中島拓(名古屋大学)
13:24	U14a HSC サーベイ初年度データのコスミックシア COSEBIs 解析によるE/Bモード分解と宇宙論パラメータ推定 浜名崇(国立天文台)	09:54	V103a 次世代マイクロ波放射計兼広帯域 VLBI 受信システムの開発(III) 氏原秀樹(京都大学)
13:36	U15a すばるHSCの3年度データとSDSSデータを用いた宇宙論解析: 弱重力レンズ+銀河-弱重力レンズ+銀河クラスタリングの統合解析 杉山素直(東京大学/Kavli IPMU)	10:06	V104a 1.85m電波望遠鏡搭載受信機の高感度化・広帯域化に向けた開発 川下紗奈(大阪公立大学)
13:48	U16a SDSS及びすばるHSCで測定した弱重力レンズ、クラスタリング、赤方偏歪みを用いた一般相対性理論の検証 中沢准昭(名古屋大学)	10:18	V105a 野辺山45m鏡7ビーム3帯域両偏波受信機(7BEE)の開発 XIII 米山翔(大阪公立大学)
14:00	U17a 測光的赤方偏歪み推定におけるブレンド天体の影響 西澤淳(岐阜聖徳学園大学)	10:30	V106a 茨城観測局電波望遠鏡搭載広帯域CX帯受信機の開発3 知念翼(大阪公立大学)
14:12	U18a Lyman α forestの3次元パワースペクトルによる構造成長率の制限 中島光一郎(名古屋大学)	10:42	V107b 広帯域CX帯同軸導波管変換の開発とそれを用いたTRL校正 抱江柊利(大阪公立大学)
14:24	U19a 重力波の再構成時に発生する偏極モード間におけるエネルギーの漏れ分析 具島侑也(福岡大学)	10:42	V108b 茨城観測局電波望遠鏡搭載広帯域CX位相遅延器の開発 孫赫陽(大阪公立大学)
14:36	質疑応答(10分)	10:42	V109b 高萩/日立32m電波望遠鏡の整備状況2022B 米倉覚則(茨城大学)
		10:54	V110b 水沢VERA20m望遠鏡搭載に向けた67-116GHz帯2SB回路の検討 亀山晃(大阪公立大学)
		10:54	V111b 45m電波望遠鏡43/86GHz観測用Perforated Plate型周波数フィルターの評価 野曾原千晟(大阪公立大学)
		10:54	V112b HINOTORI (Hybrid Integration Project in Nobeyama, Triple-band Oriented) 進捗報告 今井裕(鹿児島大学)
		11:06	V113b 野辺山45m鏡eQ受信機のコミッショニング観測結果 山崎康正(大阪公立大学)

V1. 観測機器

11:06	V114b	マイクロ波帯増幅器の出力における信号雑音比について 川下紗奈(大阪公立大学)	14:12	V125a	Noise Breakdown of Dual-polarization Balanced MMIC SIS Mixer at 2mm Wavelength Wenlei Shan (NAOJ)
11:06	V115b	大気オゾン分光観測の高効率化に向けた周波数変調局部発振器を用いた受信システム開発 彦坂拓海(名古屋大学)	14:24	V126a	次世代FITSビューワVissageの開発: 偏波表示機能3およびPythonインタフェース 川崎渉(国立天文台)
11:18	V116b	有機物合成実験のための mm-THz 波プラズマ分光診断システムの最適化開発 米津鉄平(大阪公立大学)	14:36	V127a	ALMA 向けイメージングツール PRIISM の開発:(1) 中里剛(国立天文台)
11:18	V117b	Application of machine learning in Faraday tomography Suchetha Cooray (Nagoya University)	14:48	V128a	ALMA 向けイメージングツール PRIISM の開発:(2) 池田思朗(統計数理研究所)
	V118c	火星惑星保護カテゴリー IV/ 乾熱滅菌によるテラヘルツアンテナの性能評価 前澤裕之(大阪公立大学)	15:00	V129a	The Next Generation Very Large Array - Fall 2022 伊王野大介(国立天文台)
11:30		質疑応答(10分)	15:12	V130a	ngVLA プロジェクトのための時刻・周波数配信システムの開発 木内等(国立天文台)
9月14日(水) 午後・F会場			15:24	V131b	Correction of Atmospheric Effects in ALMA Single-Dish Pipeline 中里剛(国立天文台)
13:00	V119a	Update on ALMA Operations and Development Program - Autumn 2022 Alvaro Gonzalez (NAOJ)	15:36		質疑応答(10分)
13:12	V120a	ALMA 受信機用広帯域光学系コンポーネントの開発(V) 金子慶子(国立天文台)	9月15日(木) 午前・F会場		
13:24	V121a	Double-ridge 導波管型直交偏波分離器における共振現象解析 坂井了(国立天文台)	09:30	V132a	月面の科学を実現するシナリオと実現性の検討: 月面からの宇宙観測計画 山田亨(宇宙航空研究開発機構)
13:36	V122a	ミリ波・サブミリ波帯 広帯域コルゲートホーンの交差偏波ビームパターンの多様性の起源の解明 山崎康正(大阪公立大学)	09:42	V133a	月面低周波電波干渉計の実現に向けた概念設計検討 井口聖(国立天文台)
13:48	V123a	ALMA ACA 7m アンテナ用 Band 2 受信機光学系の設計 今田大皓(NAOJ)	09:54	V134a	SKA プロジェクトへの参加計画 6 小林秀行(国立天文台)
14:00	V124a	高開口能率サブミリ波マルチビーム受信機光学系の開発に向けた収差が開口能率に及ぼす影響の調査 政井崇帆(総合研究大学院大学)	10:06	V135a	北半球最高感度ミリ波サブミリ波ヘテロダイン受信システム LMT-FINER III. 遠赤外線微細構造線による前・宇宙再電離期の銀河形成の開拓 田村陽一(名古屋大学)
			10:18	V136a	Large Submillimeter Telescope (LST): 8. コミュニティーとの連携強化 河野孝太郎(東京大学)

V2. 観測機器 (光赤外・重力波・その他)

10:30	V137a 遺伝的アルゴリズムによる自重変形を考慮した2次元パラボラ構造最適化手法の実装 今村千博(名古屋大学)	9月14日(水) 午後・G会場	13:00	V201a TMT 計画 - 進捗報告 臼田知史(国立天文台)
10:42	V138a 超広帯域ミリ波サブミリ波帯反射防止多層膜の開発 長沼桐葉(電気通信大学)		13:12	V202a TMT 第一期観測装置 広視野可視撮像分光装置 WFOS の開発進捗 尾崎忍夫(国立天文台)
10:54	V139a 広帯域ミリ波サブミリ波帯多色カメラ用平面型直交偏波分離器の設計 宇野慎介(東京大学)		13:24	V203a SuMIRe-PFS[33]: プロジェクト概要と装置開発進捗状況まとめ 2022 年秋季 田村直之(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構)
11:06	V140a 広帯域ミリ波・サブミリ波検出器のためのアレイ化に適した Magic-T の設計 井上修平(東京大学)		13:36	V204a すばる望遠鏡広帯域分光装置 NINJA : 装置概要 東谷千比呂(国立天文台)
11:18	V141a テラヘルツ領域の観測に向けた強度干渉計の開発 小関知宏(筑波大学)		13:48	V205a すばる望遠鏡広帯域分光装置 NINJA : 科学目標 守屋堯(国立天文台)
11:30	質疑応答(10分)		14:00	V206a すばる望遠鏡 HSC データを用いた小惑星検出アプリ COIAS の開発 2 浦川聖太郎(日本スペースガード協会)
9月15日(木) 午後・F会場			14:12	V207a 銀河画像の空間分解能改善: 最適な正規化と主双対近接分離を用いた解法 村田一心(国立天文台)
13:00	V142a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD ミッション部の概念設計と構造検討 小栗秀悟(宇宙航空研究開発機構)		14:24	V208a MITSuME 望遠鏡画像に対する深層学習を用いた突発天体検知システムの構築 伊藤尚泰(東京工業大学)
13:12	V143a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD 低周波望遠鏡の crossed Dragone 型光学設計の開発 松田フレドリック(宇宙航空研究開発機構)		14:36	V209a 自由曲面のための3点計測法の開発 徳地研人(京都大学)
13:24	V144a LiteBIRD 低周波望遠鏡アンテナの時間領域分割測定による迷光評価 高倉隼人(東京大学/宇宙航空研究開発機構)		14:48	V210a 自由曲面を用いた超広視野光学系の設計 橋ヶ谷武志(京都大学)
13:36	V145a ボロメータアレイ検出器搭載望遠鏡のアンテナパターン測定に向けたホログラフィー近傍界測定法の考察 中野遼(東京大学/宇宙航空研究開発機構)		15:00	V211a 広視野近赤外線望遠鏡 PRIME の光学調整と試験観測 山響(大阪大学)
13:48	V146a Geant4 を用いた LiteBIRD 衛星における宇宙線の影響評価 富永愛侑(東京大学/宇宙航空研究開発機構)		15:12	V212a 南アフリカ望遠鏡用近赤外ドップラー分光器 SAND の光学設計 高橋葵(アストロバイオロジーセンター/国立天文台)
14:00	質疑応答(10分)		15:24	V213b PRIME 望遠鏡におけるハルトマンテストを用いた光学調整方法 鈴木大介(大阪大学)

V2. 観測機器

15:24	V214b 恒星フレアのH α 輝線を検出する25cm自動望遠鏡の開発 井出善心(兵庫県立大学)	11:06	V225a 12分割6次位相マスクを用いた高コントラスト観測の室内実証 米田謙太(国立天文台)
15:24	V215b 遠方QSOモニタリングに向けたなゆた・NIC測光精度向上の試み 斎藤智樹(兵庫県立大学)	11:18	V226b 30-38 μ m中間赤外線観測ユニットTAO/MIMIZUKU MIR-Lの開発 飯田熙一(東京大学)
	V216c PRIME望遠鏡近赤外主焦点撮像装置: PRIME-Camの開発 平尾優樹(大阪大学)	11:18	V227b 大口径望遠鏡コロナグラフ向けの可視広帯域24分割6次位相マスクの開発 西川淳(国立天文台)
15:36	質疑応答(10分)	11:18	V228b 高コントラスト高分散分光装置REACHの広帯域化に向けた開発 細川晃(総合研究大学院大学)
9月15日(木)午前・G会場		11:30	V229b 点回折干渉計方式を用いた補償光学用波面センサの開発3:波面測定実験 津久井遼(京都大学)
09:30	V217a 重力波望遠鏡KAGRAにおける迷光対策 阿久津智忠(国立天文台)	11:30	V230b 近赤外撮像装置TOPICSの検出器駆動と冷却システムの開発 永田和也(東北大学)
09:42	V218a 重力波望遠鏡KAGRAにおける出射光学系の改良と性能評価 西野耀平(東京大学)	11:30	V231b Micro-Mirror Slicer-Based IFU for High-Resolution Solar Imaging Spectroscopy 末松芳法(国立天文台)
09:54	V219a 可視近赤外線偏光観測による銀河磁場探査 中村謙吾(広島大学)	11:42	質疑応答(10分)
10:06	V220a 東京大学アタカマ天文台TAO 6.5m望遠鏡計画進捗報告2022 宮田隆志(東京大学)	9月15日(木)午後・G会場	
10:18	V221a SWIMS(近赤外線2色同時多天体分光撮像装置)の検出器性能評価 穂満星冴(東京大学)	13:00	V232a すばる望遠鏡用極限補償光学装置SCEXAOによる高速偏光撮像モードの開発 工藤智幸(国立天文台)
10:30	V222a 近赤外線面分光ユニットSWIMS-IFU:すばる望遠鏡でのファーストライト 櫛引洸佑(東京大学)	13:12	V233a 高コントラスト観測法Coherent Differential Imaging on Speckle Area Nulling(CDI-SAN)の開発 西川淳(国立天文台)
10:42	V223a TAO 6.5-m望遠鏡用中間赤外線観測装置MIMIZUKU:近赤外線チャンネルの性能評価 上塚貴史(東京大学)	13:24	V234a 2チャンネル型位相マスクコロナグラフのための2偏光・複数バンド焦点面波面センサーの開発 大平泰広(北海道大学)
10:54	V224a TAO/MIMIZUKUによる中間赤外線モニタ観測の実現に向けた高精度フラット補正ユニットの開発 成瀬日月(東京大学)	13:36	V235a 回折限界のInner Working Angleを持つ新しいコロナグラフ原理の確認実験 伊藤哲司(名古屋大学)

V3. 観測機器 (X線・γ線)

13:48	V236a 広帯域コロナグラフマスクの実現に向けた同心型分光器の性能測定 太田峻介(名古屋大学)	9月13日(火) 午後・B会場
14:00	V237a 地球型系外惑星観測を目指した広帯域ダークホール制御系の開発 浅野瑞基(北海道大学)	14:00 V301a 地球磁気圏 X線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) の現状 IV 中嶋大(関東学院大学)
14:12	V238a CIB 観測ロケット実験 CIBER-2: 第2回打上げに向けた観測装置改修の現状 松浦周二(関西学院大学)	14:12 V302a 地球磁気圏 X線撮像計画 GEO-X 搭載高速 CMOS イメージセンサーのデータ取得システムの開発 萩野浩一(関東学院大学)
14:24	V239a Solar-C (EUVST) に搭載する超高精度太陽センサ「UFSS」: センサの2軸同時出力によるリニアリティ誤差測定実験の状況 吉田南(東京大学)	14:24 V303a X線分光撮像衛星 (XRISM) 搭載軟 X線撮像装置 (Xtend) の開発の現状 (8) 小林翔悟(東京理科大学)
14:36	V240a Immersion Grating 材料の極低温中間赤外線屈折率測定手法の開発 榎木谷海(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)	14:36 V304a XRISM 搭載軟X線撮像検出器 SXI のフライト用 CCD 素子の地上較正試験における分光性能の評価 宮崎啓太郎(宮崎大学)
14:48	V241b Immersion Grating 材料選定のための低温赤外線透過率精密測定装置の開発 李源(名古屋大学)	14:48 V305a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 X線 CCD の軟 X線帯域の検出効率の測定 青木大輝(東京理科大学)
14:48	V242b 准共通光路波面分割型位相シフト干渉法による遠赤外線イメージング分光器の開発 趙彪(名古屋大学)	15:00 V306a XRISM 衛星搭載 Xtend における受光部外からの電荷侵入に強い新 CCD 駆動法 青柳美緒(大阪大学)
14:48	V243b 中間赤外線波動追跡計算を用いた宇宙機搭載用イマージョンエシエル高分散分光器における波長分解能の評価 伊藤哲司(名古屋大学)	15:12 V307a XRISM 搭載軟X線撮像検出器 SXI のイベント検出アルゴリズムのパラメタ決定 大塚芳徳(宮崎大学)
15:00	V244b Nancy Grace Roman 宇宙望遠鏡計画: 日本の参加の現状 山田亨(宇宙航空研究開発機構)	15:24 V308a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 CCD 検出器における Goffset のシミュレーション 青木悠馬(近畿大学)
	V245c フリンジ画像の等値線上線形当てはめによる連星スペckル差測光 西田來樹(北見工業大学)	15:36 V309a メッシュの影を用いた XRISM/Xtend 搭載 CCD 検出器の相対位置の評価 大出優一(大阪大学)
15:12	質疑応答(10分)	15:48 V310b X線分光撮像衛星 XRISM 搭載軟 X線撮像装置 Xtend のためのパイルアップシミュレータの開発 米山友景(宇宙航空研究開発機構)
		15:48 V311b 地球磁気圏 X線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) 搭載検出器の軟 X線応答評価 松本拓也(関東学院大学)
		15:48 V312b 微細加工技術を用いた軽量ロブスターアイ光学系の開発 石川久美(東京都立大学)
		16:00 質疑応答(10分)

V3. 観測機器

9月14日(水) 午前・B会場		9月14日(水) 午後・B会場	
09:30	V313a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 X線望遠鏡(XMA)開発の現状(7) 林多佳由(NASA's GSFC, UMBC)	13:00	V324a OHMAN(MAXI - NICER ISS上連携)開始 三原建弘(理化学研究所)
09:42	V314a XRISM XMA フライト品性能試験のためのX線結像測定システムの開発 松本岳人(東京都立大学)	13:12	V325a X線突発天体監視速報衛星こよう搭載の広視野X線撮像検出器 T-LEX の応答関数構築 鈴木大晴(金沢大学)
09:54	V315a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Resolve の開発の現状 IX 佐藤浩介(埼玉大学)	13:24	V326a X線突発天体監視速報衛星こよう搭載のガンマ線検出器 KGD の性能評価 吉田翼(金沢大学)
10:06	V316a XRISM 衛星 Resolve 精密分光器の軌道上ゲインドリフト較正戦略の最適化 澤田真理(理化学研究所)	13:36	V327a 超小型X線衛星 NinjaSat の開発進捗 大田尚享(東京理科大学/理化学研究所)
10:18	V317a XRISM 衛星搭載極低温検出器における電磁干渉の影響評価 栗原明稀(東京大学)	13:48	V328a 超小型X線衛星 NinjaSat に搭載するガスX線検出器のオンボード信号処理 北口貴雄(理化学研究所)
10:30	V318a X線偏光観測衛星 IXPE の現状(2) 玉川徹(理化学研究所)	14:00	V329a 超小型X線衛星 NinjaSat 搭載のガスX線検出器のエネルギー較正 林昇輝(東京理科大学/理化学研究所)
10:42	V319a 硬X線偏光観測実験 XL-Calibur 気球の2022年フライトにおける現地準備状況 高橋弘充(広島大学)	14:12	V330a 超小型衛星による、宇宙空間からの太陽中性子の観測(V) 山岡和貴(名古屋大学)
10:54	V320a 硬X線偏光検出気球実験 XL-Calibur の2022年フライト向け望遠鏡の取り付け 鴨川航(大阪大学)	14:24	V331a 放射線劣化により暗電流が増加したMPPCの低温での性能回復 丹羽怜太(広島大学)
11:06	V321a 硬X線偏光観測気球実験 XL-Calibur 搭載 CZT 半導体検出器の性能評価 阪本菜月(広島大学)	14:36	V332a MPPCを用いたプラスチックシンチレータのアクティブシールドとしての性能評価 森下皓暁(広島大学)
11:18	V322b Ground performance test of the pulse shape processor in the XRISM/Resolve microcalorimeter under a high-count-rate situation 水本岬希(京都大学)	14:48	V333a 可視光によるLobster Eye Opticsのアライメント調整とX線結像性能評価 後藤初音(金沢大学)
11:18	V323b 炭素繊維強化プラスチック製X線反射鏡における薄板ガラスを用いた新鏡面製作法の開発 岩崎雅大(愛媛大学)	15:00	質疑応答(10分)
11:30	質疑応答(10分)		

9月15日(木) 午前・B会場		9月15日(木) 午後・B会場	
09:30	V334a 軟X線から硬X線の広帯域を高感度で撮像分光する衛星計画 FORCE の現状(14) 森浩二(宮崎大学)	13:00	V344a GRAMS 計画 5: MeV ガンマ線観測・ ダークマター探索気球実験 一戸悠人(立教大学)
09:42	V335a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器 の開発 53:MeV ガンマ線観測への応用 に向けた SOI ピクセル検出器の基礎特 性評価 橋爪大樹(広島大学)	13:12	V345a GRAMS 計画 6 : 低温環境下での光検 出系の開発 市橋正裕(東京大学)
09:54	V336a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光 器の開発 54 : PDD 構造を有する X 線 SOI-CMOS 検出器 XRPIX の TID 効果 測定試験 岩切卯月(宮崎大学)	13:24	V346a 全天 MeV ガンマ観測衛星計画 AMEGO-X の現状と日本の関わり 深沢泰司(広島大学)
10:06	V337a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器 の開発 55: 現在の到達点と今後の開発 鶴剛(京都大学)	13:36	V347a 次世代 MeV ガンマ線衛星に向けた HV- CMOS ピクセルセンサ AstroPix の開発 須田祐介(広島大学)
10:18	V338a 太陽観測ロケット実験 FOXSI-4 に向けた 高角度分解能 X 線望遠鏡の開発 藤井隆登(名古屋大学)	13:48	V348a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告(22) 野田浩司(東京大学)
10:30	V339a 日米共同・太陽 X 線集光撮像分光観 測ロケット実験 FOXSI-3 に用いたプレコ リメータの性能評価 佐藤慶暉(総合研究大学院大学)	14:00	V349a CTA大口径望遠鏡のためのSiPMモジュ ールの開発 橋山和明(東京大学)
10:42	V340a 日米共同・太陽フレア X 線集光撮像分光 観測ロケット実験 FOXSI-4 に用いる CMOS イメージセンサの X 線光子計測能力評価 清水里香(総合研究大学院大学)	14:12	V350a ALPACA 実験 3: ALPAQUITA 建設報告 2022 大西宗博(東京大学)
10:54	V341a 狭視野 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠 鏡による気球実験の試作機 miniSGD : 計画概要と進捗 中澤知洋(名古屋大学)	14:24	質疑応答(10分)
11:06	V342a 狭視野 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠 鏡による気球実験の試作機 miniSGD : 半導体コンプトン望遠鏡の開発と現状 大熊佳吾(名古屋大学)		
11:18	V343a 狭視野 Si/CdTe 半導体コンプトン望遠 鏡による気球実験の試作機 miniSGD : シールド部の開発 安藤美唯(名古屋大学)		
11:30	質疑応答(10分)		

W. コンパクト天体

W. コンパクト天体

9月13日(火) 午後・J会場		9月14日(水) 午前・J会場	
14:00	W01a 冷え切った原始中性子星への降着によるニュートリノ放射とその観測可能性 赤穂龍一郎(早稲田大学)	09:30	W12a 臼田 64 m アンテナを用いた FRB 20201124A からの 2 GHz における高フルエンスバースト検出 池邊蒼太(東京大学/国立天文台)
14:12	W02a 磁気中性子星のクラスト部分の弾性限界と弾性エネルギー蓄積過程 小島康史(広島大学)	09:42	W13a 高速 CMOSカメラ Tomo-e Gozen による Fast Radio Burst 可視光放射の探査 新納悠(東京大学)
14:24	W03a 一般相対論的輻射磁気流体力学シミュレーションによる超高光度 X 線パルサーのスピニングアッププレート 井上壮大(筑波大学)	09:54	W14a TESS を用いた Be/X 線連星 MAXI J0903-531 の解析 山口遼大(東京工業大学)
14:36	W04a マグネターの磁気変形とトロイダル磁場: 観測結果の中間まとめ 牧島一夫(東京大学)	10:06	W15a 矮新星 SS Cyg における 2021 年の異常な光度変動とその前兆現象の正体 木邑真理子(理化学研究所)
14:48	W05a マグネター SGR 1806-20 の長期観測 内田和海(宇宙航空研究開発機構)	10:18	W16a Smart Kanata の観測による 3 つの WZ Sge 型矮新星の降着円盤構造 佐崎凌佑(広島大学)
15:00	W06a すざくによる低質量 X 線連星 2S 0921-630 の降着円盤コロナの解析 米山友景(宇宙航空研究開発機構)	10:30	W17a せいめい望遠鏡 TriCCS による Early superhump の多色観測と円盤高度構造の再構成 反保雄介(京都大学)
15:12	W07a 「すざく」による低質量 X 線連星 EXO 0748-676 の解析: dip と光電離吸収体 堂谷忠靖(宇宙航空研究開発機構)	10:42	W18a ヘリウム激変星の多波長モニター観測による再増光メカニズムの解明 磯貝桂介(京都大学)
15:24	W08a Supergiant fast X-ray transient MAXI J0709-153 の発見と可視対応天体(Be 星 LY CMa) の同定 志達めぐみ(愛媛大学)	10:54	W19a 矮新星静穏時における硬 X 線放射領域の物理状態の解明 武尾舞(東京都立大学)
15:36	W09a Collision between the stellar wind and the accretion disk in misaligned Be/X-ray binaries 岡崎敦男(北海学園大学)	11:06	W20a Z Cam 型矮新星アウトバーストにおけるスペクトル変化 大島誠人(兵庫県立大学)
15:48	W10a NuSTAR 衛星の長時間観測による大質量 X 線連星 Cen X-3 のスペクトル変動機構の解明 丹波翼(東京大学)	11:18	W21a X 線天体の半世紀にわたる長期変動の研究 I 北本俊二(立教大学)
16:00	W11a MAXI と NICER の観測による継続時間の長い X 線バーストの降着円盤への影響 芹野素子(青山学院大学)		W22c 激変星 AE Aqr の短時間電波強度変動 藤沢健太(山口大学)
16:12	質疑応答(10分)	11:30	質疑応答(10分)

9月14日(水) 午後・J会場		14:48	W34b	円盤 - コロナ系の熱平衡曲線 古野雅之(京都大学)		
13:00	W23a			15:00	W35b	ボルツマン輻射輸送によるコンプトン冷却を考慮した輻射非効率降着流の電子温度計算 小川拓未(筑波大学)
13:12	W24a			15:00	W36b	超臨界降着流におけるライマンアルファ輝線の放射力: 2光子放射の効果 武者野拓也(筑波大学)
13:24	W25a			15:00	W37b	相対論的流体中から放出された光子の多重散乱効果; 数値計算によるアプローチ 竹田麟太郎(筑波大学)
13:36	W26a			15:12	W38b	歳差運動するブラックホール降着円盤の観測的性質の解明 人見拓也(筑波大学)
13:48	W27a			15:12	W39b	コンプトン散乱を考慮した偏光 X線輻射輸送計算コードの開発 竹林晃大(筑波大学)
14:00	W28a			15:12	W40b	突発的超臨界降着現象における輻射性衝撃波の研究 島田悠愛(筑波大学)
14:12	W29a			15:24	W41b	Swift/XRT と MAXI/GSC の MAXI J1631-479 のエネルギースペクトルに含まれる星間ダスト成分の抽出とダストと天体までの距離の見積もり 小林浩平(日本大学)
14:24	W30a			15:24	W42b	欠損の多い教師データを用いた銀河系内突発現象の機械判別 古賀柚希(広島大学)
14:36	W31a			15:24	W43b	将来の X線干渉計観測に向けた X線ブラックホールシャドウ予測 川島朋尚(東京大学)
14:48	W32b			15:36		質疑応答(10分)
14:48	W33b					

W. コンパクト天体

9月15日(木) 午前・J会場		9月15日(木) 午後・J会場	
09:30	W44a 相対論的に磁化されたプラズマにおける Alfvén 波の崩壊不安定性 石崎渉(京都大学)	13:00	W54a 任意の角速度分布を持つ一般相対論的回転星の新しい平衡形状 藤澤幸太郎(東京大学)
09:42	W45a 星周物質による GRB ジェットの mass-loading と明るく短い可視光突発天体 鈴木昭宏(東京大学)	13:12	W55a ブラックホール・中性子星連星合体の長時間発展における磁場配位、磁場強度、赤道面対称性の有無の影響 林航大(京都大学)
09:54	W46a 超高エネルギーガンマ線バースト GRB 190829A の多波長残光の理論的解釈 佐藤優理(青山学院大学)	13:24	W56a 天の川銀河系中心 SgrA* が超巨大ブラックホール・バイナリーである事実と重力波・無放射モデルの存在 大家寛(東北大学)
10:06	W47a ジェットの内部構造を考慮した GRB 080710 の可視光・X 線残光の理論的解釈 大林花織(青山学院大学)	13:36	W57a 種族 I,II 星による中性子星-ブラックホール連星形成及びその観測可能性 衣川智弥(東京大学)
10:18	W48a HETE-2 で観測された GRB 050709 からのコクーン放射 荻野直樹(金沢大学)	13:48	W58a 非常に重たい Population III 起源の連星ブラックホール合体からの重力波と連星進化のパラメータ 聖川昂太郎(東京大学)
10:30	W49a 磁場優勢相対論的ジェットに於ける磁気エネルギー転換機構 草深陽(東京大学)	14:00	W59a キロノバの赤外線スペクトルにおけるランタノイドの特徴 土本菜々恵(東北大学)
10:42	W50a 相対論的無衝突衝撃波での乱流ダイナモによる磁場増幅 富田沙羅(東北大学)	14:12	W60a r プロセス元素を合成する磁気駆動型超新星の観測的特徴と観測可能性 長谷川樹(東北大学)
10:54	W51a 下流磁場での乱流による効果を加味した相対論的衝撃波加速 森川莞地(東京大学)	14:24	W61a 重力波に付随するニュートリノ信号の予言:コクーン光子の効果 松井理輝(東北大学)
11:06	W52a SS433 ジェット先端のコンパクトな高偏波率領域の磁場構造 酒見はる香(鹿児島大学)	14:36	W62a massive スカラーテンソル理論における球対称重力崩壊計算 浅川直道(東邦大学)
11:18	W53a MAXI が観測した GRB のスペクトル解析での相関関係と他衛星との同時解析 平松裕貴(青山学院大学)	14:48	質疑応答(10分)
11:30	質疑応答(10分)		

X. 銀河形成・進化

9月13日(火) 午前・H会場		12:06	X13b	UNIONS データに基づく赤方偏移3の電波銀河探査 井手亮太(愛媛大学)
10:30	X01a			原始銀河団領域の星形成活動と21cmシグナルの関係 秋葉健志(筑波大学)
10:42	X02a	12:18	X14b	UV & Ly α halos around Ly α emitters at $z=2.84$ across environments 菊田智史(国立天文台)
				原始銀河団シミュレーション: 超遠方サブミリ波銀河の形成について 矢島秀伸(筑波大学)
10:54	X03a	12:18	X15b	すばる望遠鏡 HSC データと SDSS ケーサーカタログを用いた $z=0.3-1.0$ のケーサー周辺環境の調査 柴田航平(愛媛大学)
				初代銀河における星団形成シミュレーション 福島肇(筑波大学)
11:06	X04a	12:18	X16b	中間赤方偏移における極端に大きな星形成率を示す銀河種族の探査 佐久間昂太(東北大学)
				The Formation of Pop III Star Clusters under UV radiation Oerd Xhemollari (University of Tsukuba)
11:18	X05a	12:30	X17b	連星種ブラックホールへの Bondi 降着と軌道進化 鈴木智也(京都大学)
				赤方偏移 9.1 の銀河 MACS1149-JD1 の ALMA 高空間分解能観測と回転運動解析 井上昭雄(早稲田大学)
11:30	X06a	12:30	X18b	量子コンピューターによる無衝突ボルツマン方程式の数値シミュレーション 山崎壮一郎(東京大学)
				Tokult-重力レンズ効果を受けた銀河の回転運動解析コード 菅原悠馬(国立天文台/早稲田大学)
11:42	X07a	12:30	X19b	分子雲の進化 前岡光明
				Early Results from the GLASS JWST ERS Program Takahiro Morishita (Caltech/IPAC)
11:54	X08b		X20c	AMD 製 GPU・NVIDIA 製 GPU 両対応 direct N -body code の実装と性能評価 三木洋平(東京大学)
				The updated measurements of [OIII] $88\mu\text{m}$ and [CII] $158\mu\text{m}$ emission from a $z=7.212$ galaxy Yi W. Ren (Waseda University)
11:54	X09b	12:42		質疑応答(10分)
				高赤方偏移銀河のダスト温度推定: ALMA 単波長の観測による経済的手法 札本佳伸(早稲田大学)
11:54	X10b			ALMA Lensing Cluster Survey: Full SED Analysis of Distant Galaxies Detected by Millimeter Observation 植松亮祐(京都大学)
12:06	X11b			高赤方偏移電波銀河の分光追観測 山下拓時(国立天文台)
12:06	X12b			A Wide and Deep Exploration of Radio Galaxies with Subaru HSC (WERGS): $z=4.72$ の電波銀河周辺環境 内山久和(愛媛大学)

9月13日(火) 午後・H会場		9月14日(水) 午前・H会場			
14:00	X21a	How can we find them? : [OIII] 88 μ m emission line and dust continuum observation of a dust-obscured galaxy at $z=7.35$ 札本佳伸(早稲田大学)	09:30	X32a	ALMA Lensing Cluster Survey: Deep 1.2 mm Number Counts and Infrared Luminosity Function at $z \simeq 1-8$ 藤本征史(Cosmic Dawn Center, Niels Bohr Institute)
14:12	X22a	Big Three Dragons: Molecular Gas in a Bright Lyman-Break Galaxy at $z=7.15$ 橋本拓也(筑波大学)	09:42	X33a	ALMA Lensing Cluster Survey: Nature of a lensed H-dropout galaxy at $z = 3.65$ 辻田旭慶(東京大学)
14:24	X23a	JWST-ALMA Joint Efforts on Calibrating Gas-Phase Metallicities of Star-Forming Galaxies at $z > 6$ 播金優一(東京大学)	09:54	X34a	Molecular gas reservoirs within the cosmic web filaments at $z=3$ Hideki Umehata(Nagoya University)
14:36	X24a	$z=6-7$ Ly α 輝線天体の光度関数及び等価幅分布と宇宙再電離史への制限 梅田滉也(東京大学)	10:06	X35a	Cosmological-Scale HI Distribution Around Galaxies and AGN Probed with Massive Spectroscopic Data Dongsheng Sun(The University of Tokyo)
14:48	X25a	準解析的モデルで探る高赤方偏移クエーサーの母銀河 大木平(愛媛大学)	10:18	X36a	Black Hole - Galaxy Coevolution at Cosmic Noon Probed by HETDEX Yechi Zhang(The University of Tokyo)
15:00	X26a	$z \sim 6$ におけるクエーサーのダークマターハロー質量に対する観測的制限 有田淳也(東京大学)	10:30	X37a	Properties of low-mass starburst H α emitters (Flash-HAEs) at $z \sim 2.3$ from broad-band selection 陳諾(東京大学)
15:12	X27a	IGMの光学的厚みとLAE密度の関係から探る宇宙再電離非一様性の起源 石本梨花子(東京大学)	10:42	X38a	Search for extended Lyman- α nebulae around $>10k$ quasars at $z > 2$ 嶋川里澄(国立天文台)
15:24	X28a	深層学習を用いたHSC-SSP測光観測データからの原始銀河団検出 武田佳大(東京大学)	10:54	X39a	Field Variation in LAE-IGM HI Correlation at $z \simeq 2$ Mapped by Subaru/HSC Liang, Yongming(SOKENDAI/NAOJ)
15:36	X29a	赤方偏移4における遠方電波銀河の探査と性質調査 山本優太(愛媛大学)	11:06	X40a	原始銀河団領域での星形成・化学組成比進化 福島啓太(大阪大学)
15:48	X30a	A Possible Cluster of Massive Quiescent Galaxies at $z \sim 4$ 田中賢幸(国立天文台)	11:18	X41a	Bright Extragalactic ALMA Redshift Survey (BEARS): Emission line properties of the bright <i>Herschel</i> -selected galaxies in South Galactic Pole 萩本将都(名古屋大学)
16:00	X31a	The eROSITA Final Equatorial-Depth Survey (eFEDS): A multiwavelength view of WISE mid-infrared galaxies/active galactic nuclei 鳥羽儀樹(国立天文台)	11:30		質疑応答(10分)
16:12		質疑応答(10分)			

9月14日(水) 午後・H会場		15:12	X53a	厳密なエネルギーの制限を課した超新星フィードバックの実装とその効果 岡本崇(北海道大学)
13:00	X42a			
		15:24	X54a	Exploring the onset conditions of galactic winds in dwarf galaxies of the Local Group 松井瀬奈(名古屋大学)
13:12	X43a			
		15:36		質疑応答(10分)
13:24	X44a			
13:36	X45a			
13:48	X46a			
14:00	X47a			
14:12	X48a			
14:24	X49a			
14:36	X50a			
14:48	X51a			
15:00	X52a			

X. 銀河形成

9月15日(木) 午前・H会場		9月15日(木) 午後・H会場	
09:30	X55a 機械学習で探る極金属欠乏銀河 西垣萌香(総合研究大学院大学)	13:00	X66a 矮小銀河を含む銀河系衛星銀河の平面 状の空間分布の進化 佐藤元太(東北大学)
09:42	X56a すばるによる極金属欠乏銀河観測:原始 He量測定と系統誤差の評価 松本明訓(東京大学)	13:12	X67a Andromeda Giant Southern Stream の形 成過程と progenitor の起源 堀田彩水(筑波大学)
09:54	X57a 高い鉄酸素比を持つ極金属欠乏銀河の 元素組成比とその起源 渡辺くりあ(総合研究大学院大学)	13:24	X68a 銀河系衛星銀河の軌道運動と潮汐効果 田中駿次(筑波大学)
10:06	X58a すばる望遠鏡FOCAS IFUが明かす近傍 の極金属欠乏銀河の金属量分布 柏木ゆり(東京大学)	13:36	X69a ダークマターハローのc-Mrelationと観測 との比較 金田優香(筑波大学)
10:18	X59a 小質量・低金属量銀河の空間分解した 金属量分布 中島王彦(国立天文台)	13:48	X70a Density-Independent SPH 法及び Godunov SPH 法への Integral Approach の適用とその性能 湯浅拓宏(筑波大学)
10:30	X60a 近傍観測と遠方シミュレーションが示唆 する遠方初期銀河の分散運動優位性 磯部優樹(東京大学)	14:00	X71a Top-heavy IMF を取り入れたダスト進化 モデルと遠方銀河への応用 河本慧理奈(名古屋大学)
10:42	X61a Spatially resolved early star formation in local extremely metal-poor galaxies Yi Xu (The University of Tokyo)	14:12	X72a A Machine-Learning Based Approach for Merger Identification in Subaru HSC Kiyooki Christopher Omori (Nagoya University)
10:54	X62a 可視光輝線と光電離モデルで探る極金属 欠乏銀河の隠れた非熱的放射源の正体 波多野駿(総合研究大学院大学)	14:24	X73a 深層学習を用いたPhoto-z 推定における データインバランス改善手法の検討 津田和輝(新潟大学)
11:06	X63a Resolved stellar populations of nearby galaxies 岡本桜子(国立天文台)	14:36	X74a Estimation of the Star Formation Rate of Galaxies with Radio Continuum Obtained with Murchison Widefield Array: Final Result 竹内努(名古屋大学/統計数理研究所)
11:18	X64a すばるHSC データを用いたSextans 矮小 楕円体銀河の固有運動測定 常盤晟(東京大学)	14:48	X75a Disentangling the connection between present-day galaxies and their star formation histories Suchetha Cooray (Nagoya University)
11:30	X65a HSC-SSP データを用いた天の川銀河ト モグラフィー1 鈴木善久(東北大学)	15:00	X76a Application of machine learning methods to analyze the spatially resolved SFR- stellar mass relation Wen E. SHI (Nagoya University)
11:42	質疑応答(10分)	15:12	質疑応答(10分)

Y. 天文教育・広報普及・その他

9月13日(火) 午前・J会場			Y13c 天文学・宇宙物理学のリベラルアーツ教育の疑似科学に対する知見獲得効果について 山崎大(茨城大学)
10:30	Y01a 東京学芸大学新 40 cm 鏡の開発・整備と教育研究利用 土橋一仁(東京学芸大学)	12:30	質疑応答(10分)
10:42	Y02a 東京学芸大学の新 40 cm 鏡を用いた月面分光観測 大房優莉香(東京学芸大学)		
10:54	Y03a 東京学芸大学の新 40cm 鏡を用いた遠隔授業の実施 富田飛翔(東京学芸大学)		
11:06	Y04a 分光観測の直感的理解に向けた中小望遠鏡向け接眼分光器 橋本修(ぐんま天文台)		
11:18	Y05a 教育用簡易電波干渉計プロトコル”j-VLBI” 構想 Vol.2.0 木村正樹(株式会社リバナス)		
11:30	Y06a OAO/IAU celebrate 10th anniversary -Review of the past 10 years and discussion of future plans- 縣秀彦(国立天文台)		
11:42	Y07a 宇宙天気に関する報告書のパブリックコメントに対応したワークショップの実施 玉澤春史(京都大学/京都市立芸術大学)		
11:54	Y08a 長野県における近代天文学の調査と展示～資料から探る宇宙のルーツ～ 陶山徹(長野市立博物館)		
12:06	Y09a 市民科学で読み解く諏訪天文同好会の100年 大西浩次(長野工業高等専門学校)		
12:18	Y10b 10年目の SaCRA 望遠鏡: 埼玉大学におけるさまざまな形態での教育利用や星空観望会 大朝由美子(埼玉大学)		
12:18	Y11b 小中学校理科におけるプラネタリウムの学習投影に関する現状と課題 二瓶美生(上越教育大学)		
	Y12c 岡山クーデ分光乾板デジタルアーカイブの予備調査 .II 柳澤顕史(国立天文台)		

2022年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	古澤久徳	(国立天文台)	
委員	和泉 究	(宇宙航空研究開発機構)	
	岩切 渉	(中央大学)	
	大宮 正士	(アストロバイオロジーセンター)	
	大屋 瑤子	(東京大学)	
	鈴木 知治	(中部大学)	
	廿日出 文洋	(東京大学)	
	堀田 英之	(千葉大学)	
	松岡 良樹	(愛媛大学)	
	浅井 歩	(京都大学)	保育室担当
	市来 淨與	(名古屋大学)	保育室担当

年会開催地理事

西 亮 一 (新潟大学)